

### 第3章 事業実施想定区域及び地域の概況

#### 1. 自然的状況

##### (1) 大気環境の状況

###### ア 気象

札幌管区気象台における気象の概況を表 3-1-1-1 に、また気象台の位置を、図 3-1-1-1 に示す。平均気温は 7.8℃、降水量は年間で 997.6mm、地上高 10m の風速は年平均で 3.0m/s、最多風向は東南東で、積雪深は 2 月に最大 114 mm である<sup>17)</sup>。

また、事業実施想定区域のある南区は、最近の 5 年間において中央区よりも気温が年平均 0.6℃低く、最大積雪深は 12 cm 多い<sup>18) 19)</sup>。

表 3-1-1-1 札幌管区気象台の観測値一覧(平成 2 年～平成 25 年)<sup>17)</sup>

項目 (単位)	平均気温 (℃)	平均風速 (m/s)	日照時間 (h/月)	降水量 (mm/年)	最深積雪 (cm)	最多風向 (16方位)
平成2年～25年	7.8	3.0	138.7	997.6	114	東南東

###### イ 大気質の状況

札幌市常時監視測定局である南測定局(南区)、東月寒測定局(豊平区)、センター測定局(中央区)、ならびに月寒中央測定局(豊平区)において、表 3-1-1-2 のとおり過去 10 年間、大気汚染物質(二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>))、二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)、浮遊粒子状物質(SPM)に係る環境基準を達成している。

月寒中央測定局では、過去 3 年間 PM2.5 の環境基準を達成している。

また、南区内 2 ヶ所(常盤中学校、啓北商業高校)で測定されている大気中のダイオキシン類は、過去 10 年間の測定年においてすべて環境基準を達成している。大気環境の測定局の位置を、図 3-1-1-1 に示す。

表 3-1-1-2 周辺の大気環境測定地点の状況<sup>14)</sup>

測定局 及び 項目 年度	一般測定局								道路測定局			⑤常盤 中	⑥啓北 商高
	①南測定局		②東月寒測定局			③センタ-測定局			④月寒中央測定局			ダイオキシン (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	
	NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )	SO <sub>2</sub> (ppm)	NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )	SO <sub>2</sub> (ppm)	NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )	NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )	PM2.5 (μg/m <sup>3</sup> )		
環境基準*	0.06	0.1	0.04	0.06	0.1	0.04	0.06	0.1	0.06	0.1	35	0.6	0.6
平成 16 年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
平成 17 年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
平成 18 年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
平成 19 年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
平成 20 年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
平成 21 年度	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—	○	○
平成 22 年度	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—	—	—
平成 23 年度	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 24 年度	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—	—
平成 25 年度	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—	—

注 1：環境基準は長期的な基準値を示し、表記の値以下で達成することを示す。

2：「○」は環境基準達成を示し、「—」は測定していないことを示す。

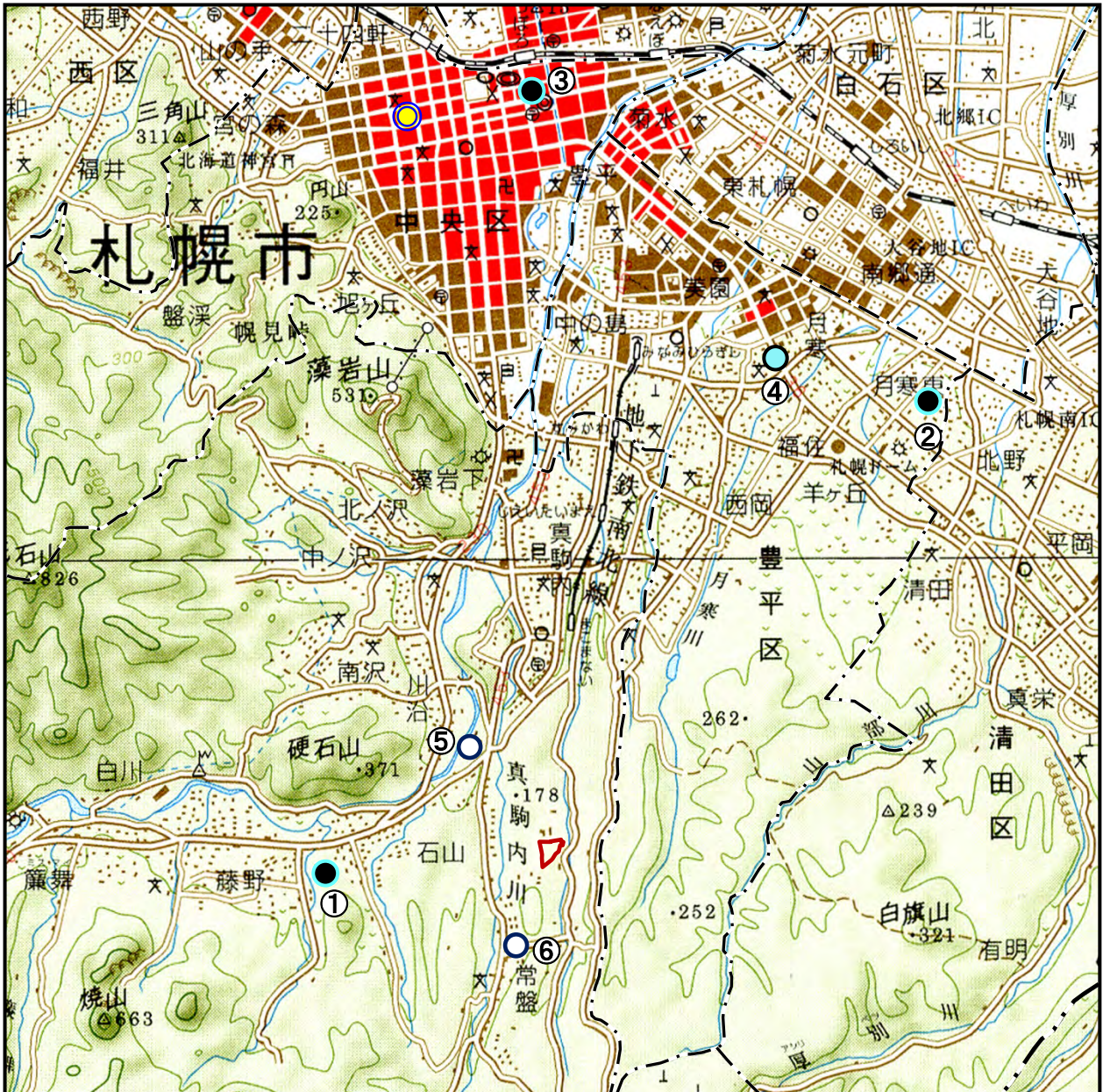
3：地点番号は、図 3-1-1-1 に対応している。

14) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市の環境一大気・水質・騒音等データ集一」(平成 16 年度～平成 25 年度)

17) 気象庁ホームページ「札幌管区気象台 過去の気象データ」

18) 札幌市建設局雪対策室計画課ホームページ「積雪深データ」(平成 21 年度～平成 25 年度)

19) 札幌市環境局「駒岡清掃工場の外気温測定結果」(平成 25 年度)

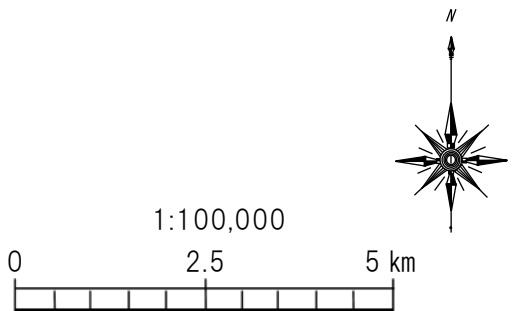


凡 例	
	事業実施想定区域
	区界
	市 町 村 界
	札幌管区気象台
	一般環境大気測定局
	自動車排出ガス測定局
①	南測定局
②	東月寒測定局
③	センタ一測定局
④	月寒中央測定局
⑤	常盤中学校
⑥	啓北商業高校

注：地点番号は本文中の表3-1-1-2に対応している。

図 3-1-1-1 札幌管区気象台と大気汚染測定地点の位置図

※この地図は、国土地理院発行の20万分の1地勢図(札幌)を拡大して使用したものである



現駒岡清掃工場における過去 5 年間の排ガス中のばい煙及びダイオキシン類は、表 3-1-1-3 のとおり、すべての年度で維持管理基準を下回っている。

表 3-1-1-3 現駒岡清掃工場の排ガスにおける維持管理基準達成状況<sup>21) 22)</sup>

項目	駒岡清掃工場排ガス				
	ばいじん (g/m <sup>3</sup> N)	硫黄酸化物 (m <sup>3</sup> N/h)	塩化水素 (mg/m <sup>3</sup> N)	窒素酸化物 (cm <sup>3</sup> N/m <sup>3</sup> N)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)
維持管理基準	0.080 以下	K 値 4.0 以下	700 以下	250 以下	1 以下
平成 21 年度	○	○	○	○	○
平成 22 年度	○	○	○	○	○
平成 23 年度	○	○	○	○	○
平成 24 年度	○	○	○	○	○
平成 25 年度	○	○	○	○	○

注 1: 「○」は、測定値が維持管理基準を下回っていることを示す。

2: K 値規制について

廃棄物焼却炉における硫黄酸化物は、排出量に係る基準として、排出口の高さに応じた以下の式により、K 値（定数ここでは 4.0）を用いた許容限度を定めている。  
K 値（定数）は、政令で地域ごとに定めており、事業実施想定区域には 4.0 を設定している。

$$q = K \times 10^{-3} \times He^2$$

q : 温度 0°C、圧力 1 気圧における硫黄酸化物の量

K : 政令で地域ごとに定める値

He : 上昇補正煙突高さ(m)

#### ウ 騒音の状況

事業実施想定区域の周辺では、一般環境騒音は測定されていない<sup>14)</sup>。

過去に行われた国道 453 号沿道及び市道真駒内滝野線における自動車騒音レベルは、表 3-1-1-4 のとおり、幹線交通を担う道路に近接する空間又は道路に面する地域の環境基準に適合している。測定地点を図 3-1-1-2 に示す。

表 3-1-1-4 主要道路の自動車騒音レベル<sup>20) 24)</sup>

道路区分	測定地点	測定年度	等価騒音レベル L <sub>Aeq</sub> (dB)	環境基準(dB)
幹線道路	①一般国道453号(真駒内緑町1)	平成25年度	69/62(○)	昼70/夜65以下
	②一般国道453号(石山東7)	平成20年度	69/63(○)	昼70/夜65以下
	③一般国道453号(石山東3)	平成15年度	68(○)	70以下
	④一般国道453号(常盤6条)	平成15年度	68(○)	70以下
一般	⑤市道真駒内滝野線(真駒内143)	平成15年度	64(○)	65以下

注 1: (○)は、測定値が環境基準に適合していることを示す。

2: 等価騒音レベルとは、ある時間範囲 T について変動する騒音レベルを、エネルギー的な平均値として表したものである。単位はデシベル (dB) で L<sub>Aeq</sub> と表す。

3: 地点番号は、図 3-1-1-2 に対応している。

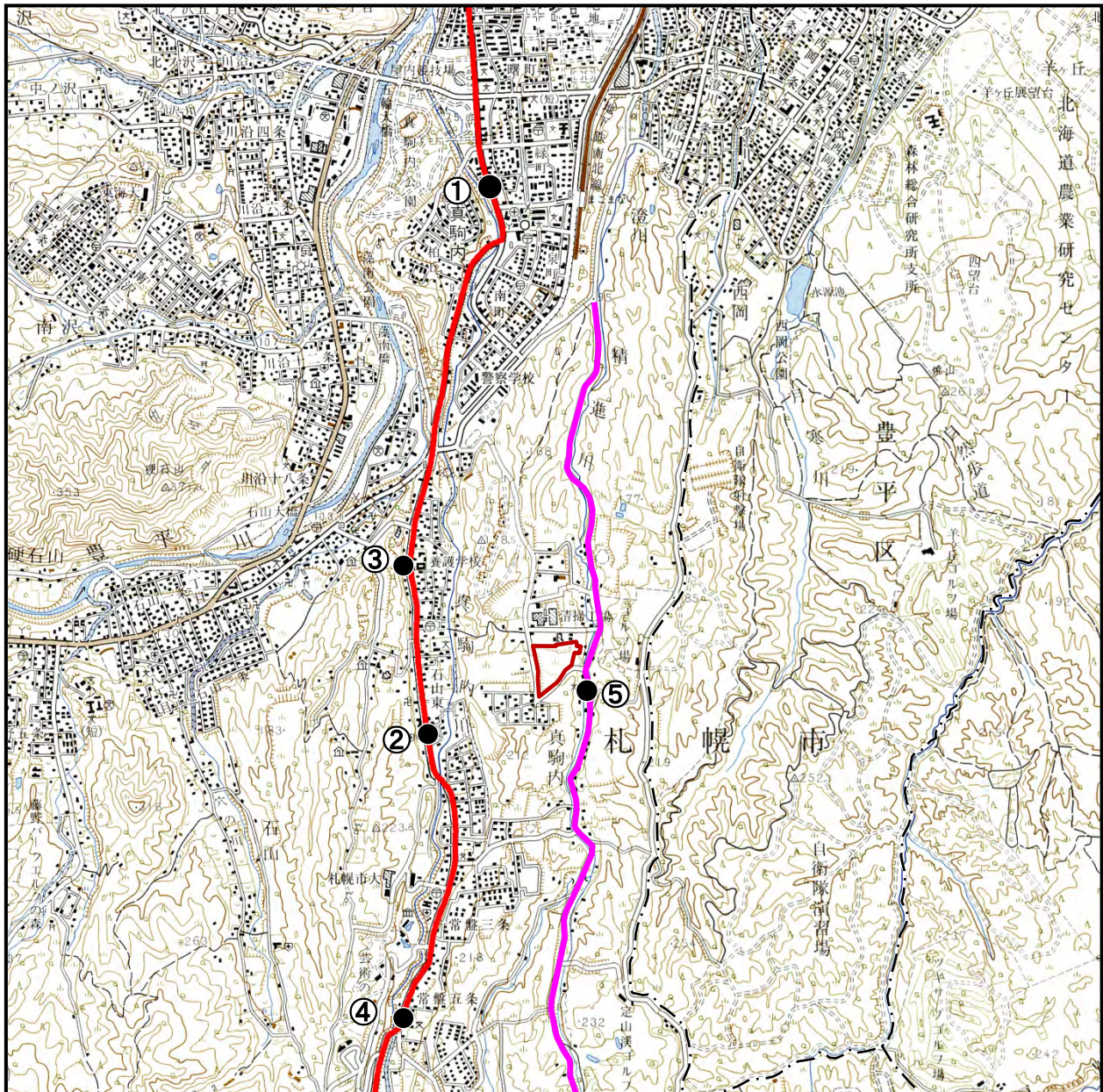
14) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市の環境—大気・水質・騒音等データ集—」（平成 15 年度～平成 25 年度）

20) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市環境白書」（平成 21 年度、平成 26 年度）

21) 札幌市環境局環境事業部「検査年報」（平成 21 年度～平成 25 年度）

22) 札幌市環境局環境事業部「ダイオキシン類測定結果」（平成 21 年度～平成 25 年度）

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成 17 年 5 月）

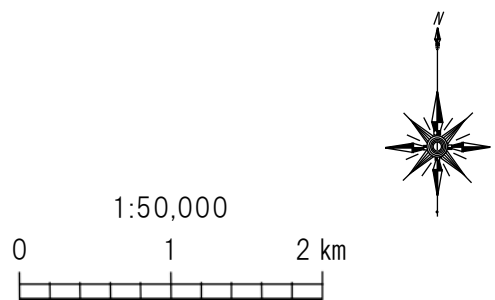


凡 例	
	事業実施想定区域
	区 界
	一般国道453号
	市道真駒内滝野線
	自動車騒音レベル測定地点
①	南区真駒内緑町1丁目
②	南区石山東7丁目
③	南区石山東3丁目
④	南区常盤6条
⑤	南区真駒内143

注：地点番号は、本文中の表3-1-1-4に対応している。

図3-1-1-2 自動車騒音測定地点

※この地図は、国土地理院発行の5万分の1地形図(札幌、石山)を使用したものである



出典：札幌市環境局環境都市推進部「札幌市の環境—大気・水質・騒音等データ集—」  
 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」(平成17年5月)

エ 低周波音（超低周波音を含む）

事業実施想定区域の周辺においては、低周波音（超低周波音を含む）は測定されていない<sup>25)</sup>。

オ 振動の状況

事業実施想定区域の周辺では、一般環境振動は測定されていない<sup>25)</sup>。

過去に行われた国道 453 号沿道の道路交通振動レベルは、表 3-1-1-5 のとおり、道路交通振動に係る第 1 種区域の昼間の要請限度を下回った。

表 3-1-1-5 主要道路の道路交通振動レベル<sup>24)</sup>

道路区分	測定地点	測定年度	時間率振動レベル $L_{10}$ (dB)	要請限度(dB)
幹線道路	一般国道453号(石山東7)	平成15年度	40 (○)	65
	一般国道453号(常盤6条)	平成15年度	36 (○)	65
一般道路	市道真駒内滝野線	平成15年度	38 (○)	65

注：(○)は、測定値が要請限度に適合していることを示す。

カ 悪臭の状況

札幌市内の一般地域において、悪臭測定は実施されていない<sup>25)</sup>。

過去に行われた白石清掃工場（駒岡清掃工場の類似施設）における調査では、表 3-1-1-6 のとおり、管理棟前の臭気指数は 10 未満、排ガスの臭気指数は 25 であった。

表 3-1-1-6 白石清掃工場における悪臭調査結果

調査地点	調査年度	臭気指数	規制基準
工場管理棟前	平成15年度	10 未満 (○)	10
煙突排ガス	平成15年度	25 (○)	44

※ 臭気指数 $Z=10 \times \log(Y)$  Y：臭気濃度

注 1：煙突排ガスの規制基準は、環境省 水・大気環境局大気生活環境室臭気対策係より公示されている「臭気指数規制第 2 号基準算定ソフト においシミュレーター」（平成 19 年 4 月）を用いて算定した。

2：(○)は、測定値が規制基準に適合していることを示す。

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成 17 年 5 月）

25) 札幌市環境局環境都市推進部資料（平成 26 年 8 月現在）

## (2) 水象、土壌の状況

### ア 河川

事業実施想定区域の周囲には、表 3-1-2-1 に示す精進川及び真駒内川が流れている<sup>30) 31)</sup>。

表 3-1-2-1 事業実施想定区域周辺の主な河川<sup>30) 32)</sup>

水系名	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	流路延長 (km)	水質汚濁に係る 環境基準の類型指定
石狩川	精進川	15.5	14.2	全域：A 類型
	真駒内川	37.1	20.8	全域：A 類型

注：精進川及び真駒内川は、豊平川の支流（2次河川）である。

### イ 水質

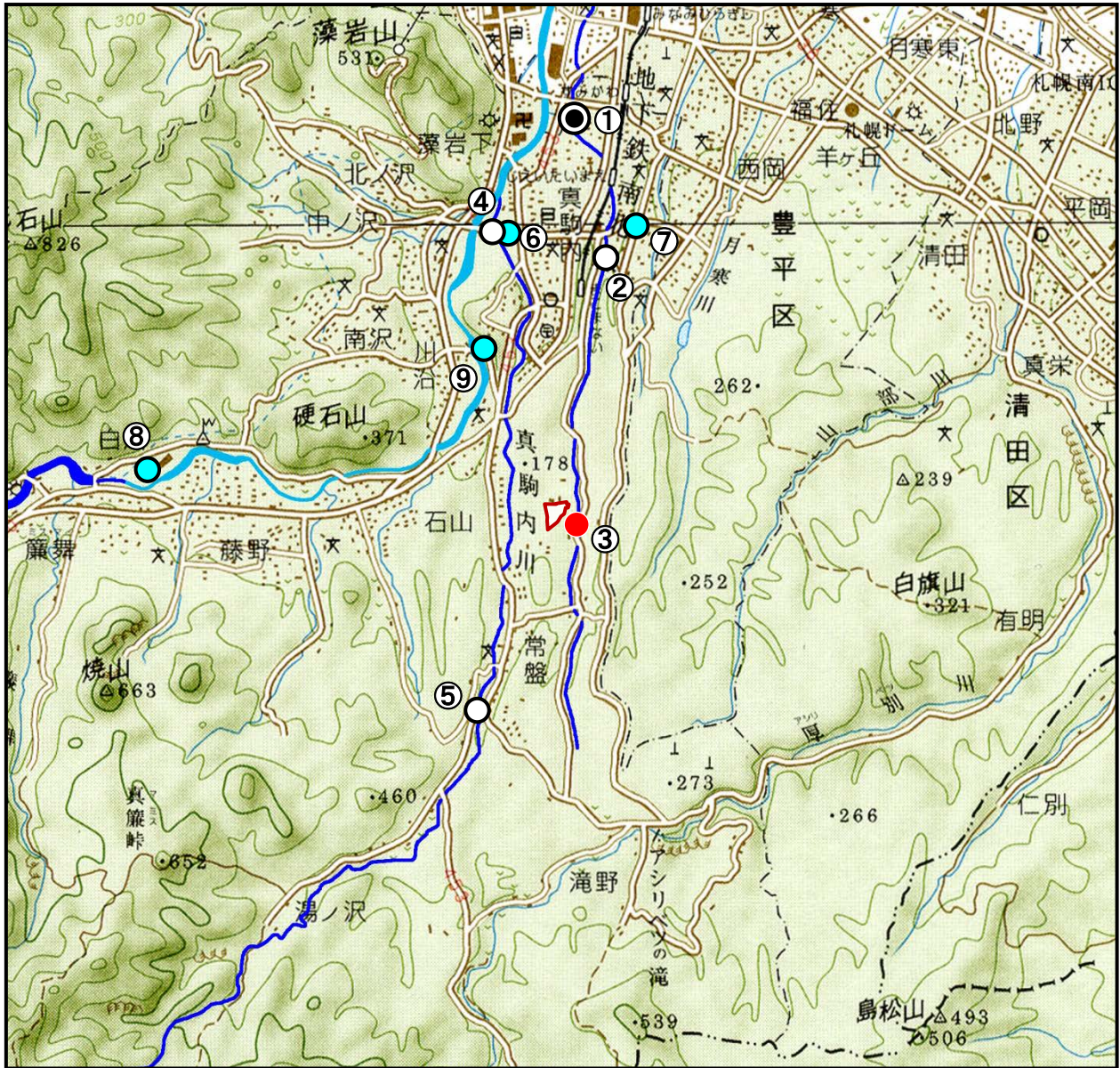
札幌市では、精進川及び真駒内川で水質を測定している。

札幌市による河川水質調査地点を、図 3-1-2-1 に示す。

30) (社)北海道土木協会「北海道河川一覧」(平成 7 年 9 月)

31) 札幌市建設局下水道管理部「札幌市河川網図」(平成 24 年 4 月)

32) 北海道環境生活部「生活環境の保全に関する環境基準の水質類型指定状況」(平成 26 年 3 月 25 日現在)

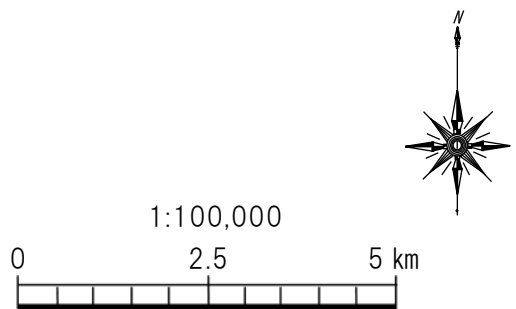


凡 例	
	事業実施想定区域
	河川（環境基準A類型）
	河川（環境基準B類型）
	水質測定地点（環境基準項目）
	水質測定地点（環境基準項目、ダイオキシン類）
	水質測定地点（水遊び場測定項目）
	地下水測定地点（ダイオキシン類）
①	放水路分派前
②	精進川 市道石山西岡線
③	駒岡小学校前の親水護岸
④	真駒内川 五輪小橋
⑤	常盤新橋
⑥	五輪小橋付近
⑦	精進川放水路分派前
⑧	白川浄水場取水口付近
⑨	藻南橋付近

注：图中番号は、本文中表 3-1-2-2～3-1-2-7 に対応している。

図 3-1-2-1 水質測定地点及び  
地下水ダイオキシン類測定地点

※この地図は、国土地理院発行の 20 万分の 1  
地勢図(札幌)を拡大して使用したものである



出典：札幌市環境局環境都市推進部「札幌市の環境」（平成 24 年度）  
札幌市環境局環境都市推進部「水遊び場水質調査地点図」（平成 26 年 7 月）

(7) 環境基準項目

事業実施想定区域の周囲における精進川及び真駒内川の環境基準類型指定はA類型であり、過去5年間の生活環境の保全に関する項目では、表3-1-2-2(1)及び3-1-2-2(2)のとおり、大腸菌群数を除く項目で環境基準を達成している。

人の健康の保護に関する項目(重金属類等27項目)については、精進川2地点、真駒内川2地点とも全ての項目が環境基準を達成している。

表3-1-2-2(1) 精進川の水質測定結果(生活環境項目) <sup>14) 37) 38)</sup>

地点名及び項目 年度	①放水路分派前					②市道石山西岡線				
	pH	DO (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	大腸菌群数 (MPN/100ml)	pH	DO (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	大腸菌群数 (MPN/100ml)
環境基準(A)	6.5~8.5	7.5以上	2以下	25以下	1,000以下	6.5~8.5	7.5以上	2以下	25以下	1,000以下
平成21年度	○	○	○	○	7/12	○	○	○	○	1/2
平成22年度	○	○	○	○	6/12	○	○	○	○	○
平成23年度	○	○	○	○	5/12	○	○	○	○	○
平成24年度	○	○	○	○	3/12	○	○	○	○	1/2
平成25年度	○	○	○	○	2/12	○	○	○	○	○

注1:「○」は環境基準達成を示す。

2:大腸菌群数の「m/n」は、環境基準に適合しない検体数/総検体数を示す。

3:表中の地点番号は、図3-1-2-1に対応している。

表3-1-2-2(2) 真駒内川の水質測定結果(生活環境項目) <sup>14) 37) 38)</sup>

地点名及び項目 年度	④五輪小橋					⑤常盤新橋				
	pH	DO (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	大腸菌群数 (MPN/100ml)	pH	DO (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	大腸菌群数 (MPN/100ml)
環境基準(A)	6.5~8.5	7.5以上	2以下	25以下	1,000以下	6.5~8.5	7.5以上	2以下	25以下	1,000以下
平成21年度	○	○	○	○	4/12	○	○	○	○	1/2
平成22年度	○	○	○	○	3/12	○	○	○	○	○
平成23年度	○	○	○	○	6/12	○	○	○	○	○
平成24年度	○	○	○	○	1/12	○	○	○	○	○
平成25年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注1:「○」は環境基準達成を示す。

2:大腸菌群数の「m/n」は、環境基準に適合しない検体数/総検体数を示す。

3:表中の地点番号は、図3-1-2-1に対応している。

14) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市の環境—大気・水質・騒音等データ集—」(平成21~25年度)

37) 北海道環境生活部「公共用水域の水質測定結果」(平成21~25年度)

38) 札幌市環境部環境都市推進部「河川水質常時監視業務(豊平川水系)」(平成21~25年度)



(イ) 水遊び場測定項目

駒岡小学校前の親水護岸における過去3年間の水質は、表3-1-2-3のとおり、水遊び場の水質目標値を達成している。

表3-1-2-3 精進川（駒岡小前の親水護岸）の水遊び場水質測定結果<sup>39)</sup>

地点及び項目 測定年度	③ 駒岡小学校前の親水護岸		
	COD (mg/ℓ)	ふん便性大腸菌群数 (個/100ml)	透視度 (cm)
水遊び場の水質目標値	—	1,000以下	50以上
平成24年度	3.5	110(○)	100(○)
平成25年度	2.8	12(○)	100(○)
平成26年度	4.0	240(○)	100(○)

注1：(○)は札幌市が設定した水遊び場の水質目標値を達成していることを示す。

2：表中の地点番号は、図3-1-2-1に対応している。

(ウ) ダイオキシン類

精進川放水路分派前における水質及び水底の底質に係るダイオキシン類は、表3-1-2-4のとおり、環境基準を達成している。

また、現駒岡清掃工場の放流水におけるダイオキシン類は、表3-1-2-5のとおり、過去10年間において排出基準を達成している<sup>22)</sup>。

表3-1-2-4 精進川のダイオキシン類<sup>14)</sup>

地点及び項目 測定年度	① 放水路分派前	
	ダイオキシン類 水質 (pg-TEQ/ℓ)	水底の底質 (pg-TEQ/g)
環境基準	1以下	150以下
平成13年度	0.060(○)	0.26(○)

注1：(○)は札幌市が設定した水遊び場の水質目標値を達成していることを示す。

2：表中の地点番号は、図3-1-2-1に対応している。

表3-1-2-5 現駒岡清掃工場の放流水中ダイオキシン類<sup>22)</sup>

地点及び項目 測定年度	札幌市駒岡清掃工場	
	放流水中のダイオキシン類(pg-TEQ/ℓ)	
排出基準	10以下	
平成16年度	0.017	(○)
平成17年度	0.00087	(○)
平成18年度	0.0014	(○)
平成19年度	0.015	(○)
平成20年度	0.002	(○)
平成21年度	0.035	(○)
平成22年度	0.00011	(○)
平成23年度	0.012	(○)
平成24年度	0.000073	(○)
平成25年度	0.00014	(○)

注：(○)は、排出基準を達成していることを示す。

14) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市の環境—大気・水質・騒音等データ集—」（平成13年度）

22) 札幌市環境局環境事業部「ダイオキシン類測定結果」（平成16年度～平成25年度）

39) 札幌市環境局環境都市推進部「水遊び場水質調査結果」（平成24年度～平成26年度）

ウ 地下水

(ア) 環境基準項目

札幌市では、事業実施想定区域の位置する南区において、真駒内 3 地点及び石山 3 地点で地下水の水質（環境基準項目）を測定している<sup>41)</sup>。

過去 5 年間（平成 21～25 年度）の各地点における水質は、表 3-1-2-6 のとおり、真駒内東 2 丁目の「ふっ素」を除き環境基準を達成している。

表 3-1-2-6 地下水の水質測定結果（環境基準項目）の推移<sup>41)</sup>

地下水検査項目	単位	地点及び 年度 環境基準	真駒内			石山東 6 丁目 H24	石山番地 H21,23	石山1条 1 丁目 H21
			本町4丁目 H21	東町2丁目 H21～25	番地 H25			
			カドミウム	mg/l	0.003 以下			
全シアン	mg/l	検出され ないこと	<0.1	—	<0.1	—	<0.1	<0.1
鉛	mg/l	0.01 以下	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/l	0.05 以下	<0.02	—	<0.04	—	<0.02	<0.04
砒素	mg/l	0.01 以下	0.001	—, <0.005	0.001	0.002	<0.001	0.004
総水銀	mg/l	0.0005 以下	0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/l	検出され ないこと	—	—	—	—	—	—
PCB	mg/l	検出され ないこと	0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/l	0.02 以下	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/l	0.002 以下	0.0002	—	<0.0002	—	<0.0002	<0.0002
塩化ビニルモノマー	mg/l	0.002 以下	—	—	<0.0002	—	—	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/l	0.004 以下	0.0004	—	<0.0004	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/l	0.1 以下	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.04 以下	—	—	<0.008	—	—	<0.008
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	(0.04 以下)	<0.004	—	—	—	<0.004	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	1 以下	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l	0.006 以下	<0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	mg/l	0.01 以下	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/l	0.01 以下	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	mg/l	0.002 以下	<0.0002	—	<0.0002	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/l	0.006 以下	<0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/l	0.003 以下	<0.0003	—	<0.0003	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/l	0.02 以下	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	mg/l	0.01 以下	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	<0.001
セレン	mg/l	0.01 以下	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	<0.002
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	mg/l	10 以下	0.18	—	2.6	—	4.3	2.2
ふっ素	mg/l	0.8 以下	<0.08	0.60～0.91	<0.1	—	<0.08	<0.1
ほう素	mg/l	1 以下	0.21	—	<0.02	—	0.02	0.04
1,4-ジオキサン	mg/l	0.05 以下	—	—	<0.005	—	—	<0.005
水素イオン濃度	—	—	7.2	7.4～7.7	6.4	6.6	6.7, 6.5	6.5
電気伝導率	μS/cm	—	130	11.1～270	19.1	400	180, 130	25.4

注：<は定量下限値未満であることを示す。

シス-1,2 ジクロロエチレンは、平成 21 年より 1,2-ジクロロエチレンに改正されているため過去の基準を（）で示す。

41) 札幌市環境局環境都市推進部「地下水提供用データ」（平成 21 年度～平成 25 年度）

(イ) 地下水中のダイオキシン類

札幌市は、表 3-1-2-7 及び図 3-1-2-1 に示す南区の 4 地点で地下水ダイオキシン類を測定している。

平成 13 年度～平成 23 年度の測定結果は、すべて環境基準を達成している。

表 3-1-2-7 地下水の水質測定結果（ダイオキシン類）<sup>14)</sup>

地点及び項目 測定年度	地点名	地下水中のダイオキシン類 (pg-TEQ/ℓ)
平成13年度	⑥ 五輪小橋付近（南区真駒内公園）	0.031 (○)
平成19年度	⑦ 精進川放水路分派前（南区澄川）	0.014 (○)
平成20年度	⑧ 白川浄水場取水口付近（南区白川）	0.033 (○)
平成23年度	⑨ 藻南橋付近（南区石山）	0.062 (○)
環境基準		1 以下

注 1：(○)は札幌市が設定した水遊び場の水質目標値を達成していることを示す。

2：表中の地点番号は、図 3-1-2-1 に対応している。

14) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市の環境—大気・水質・騒音等データ集—」（平成 13,19,20,23 年度）

エ 土壌及び地盤

(ア) 土壌汚染の状況

札幌市では、南区の表 3-1-2-8 に示す 4 地点で土壌の特定有害物質を測定しており、測定結果はすべて土壌汚染対策法に規定する指定基準値を達成している<sup>42)</sup>。

また、平成 12 年度以降、表 3-1-2-9 及び図 3-1-2-2 に示す箇所でも土壌ダイオキシン類を測定し、すべて環境基準（1,000pg-TEQ/g）を達成している<sup>14)</sup>。

表 3-1-2-8 南区における土壌特定有害物質測定結果<sup>42)</sup>

測定地点及び調査年度			土壌汚染対策法に規定する指定基準値	真駒丁目曙町	真駒丁内泉町	12真駒丁内柏丘(1)	12真駒丁内柏丘(2)
項目(特定有害物質)	単位			H11	H23	H16	H16
砒素	溶出量	mg/l	0.01 以下	—	0.003	0.002	0.008
	含有量	mg/kg	150 以下	—	3.3	2.2	—
	全含有量	mg/kg	—	5.6	29	7.5	4.2
鉛	溶出量	mg/l	0.01 以下	—	—	0.001	—
	含有量	mg/kg	150 以下	—	—	11.3	—
	全含有量	mg/kg	—	14.2	—	13.1	—
ほう素	溶出量	mg/l	1 以下	—	—	0.16	—
	含有量	mg/kg	4,000 以下	—	—	6.4	—
	全含有量	mg/kg	—	23	—	37	—
水銀	全含有量	mg/kg	—	0.095	—	—	—
カドミウム	全含有量	mg/kg	—	0.13	—	—	—
セレン	全含有量	mg/kg	—	0.14	—	—	—
ふっ素	全含有量	mg/kg	—	280	—	—	—

- 注 1：含有量は、環境省告示第 19 号(平成 15 年 3 月 6 日)による。  
 2：全含有量は、環水管第 127 号 底質調査方法(昭和 63 年 9 月 8 日)による。  
 3：真駒内柏丘 12 丁目では、平成 16 年に 2 カ所の調査が行われている。

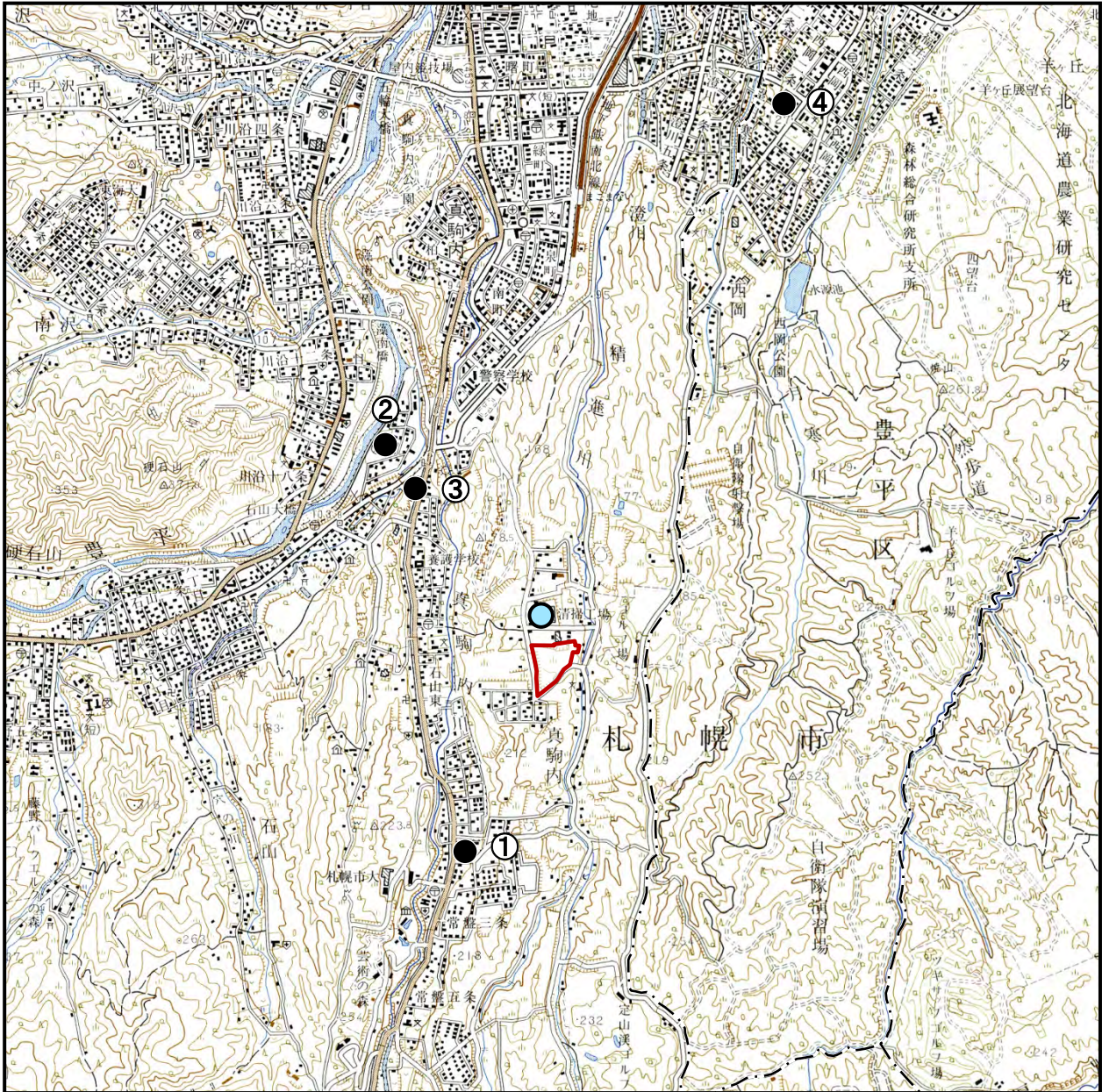
表 3-1-2-9 南区及び豊平区の土壌ダイオキシン類測定結果<sup>14)</sup>

項目及び地点 測定年度	土壌中のダイオキシン類 (pg-TEQ/g)			
	①常盤中学校	②啓北商業高校	③石山緑地 ゲートボール場	④西岡中学校
平成12年度	0.87 (○)	—	0.97 (○)	—
平成14年度	—	—	—	0.15 (○)
平成18年度	0.73 (○)	0.37 (○)	—	—
平成21年度	0.051 (○)	0.034 (○)	—	—
平成24年度	0.063 (○)	0.0045 (○)	—	—
環境基準	1,000 以下			

- 注 1：(○)は、環境基準を達成していることを示す。「—」は未測定を示す。  
 2：平成 13 年度、平成 15～17 年度、平成 19 年度、平成 20 年度、平成 22 年度、平成 23 年度は南区及び豊平区において測定していない。  
 3：測定地点の番号は、図 3-1-2-2 に対応している。

14) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市の環境—大気・水質・騒音等データ集—」(平成 12～25 年度)

42) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市内土壌含有量・溶出量データ」(平成 11 年度～平成 20 年度)



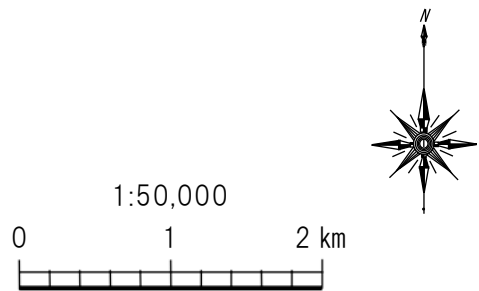
凡 例	
	事業実施想定区域
	区界
	札幌市駒岡清掃工場
	土壤汚染測定地点（ダイオキシン類）
①	常盤中学校
②	啓北商業高校
③	石山緑地ゲートボール場
④	西岡中学校

注：図中番号は、本文中の表 3-1-2-9 に対応している。

図 3-1-2-2

土壤ダイオキシン類の測定地点

※この地図は、国土地理院発行の5万分の1地形図(札幌、石山)を使用したものである。



出典：札幌市環境局環境都市推進部「札幌市の環境」（平成12年度～平成24年度）

(イ) 土壌の分類

事業実施想定区域の周辺における土壌の分類を、表 3-1-2-10 及び図 3-1-2-3 に示す<sup>44)</sup>。

周辺のほとんどの土壌がくろぼく土壌であり、真駒内川周辺には褐色低地土壌が分布している。

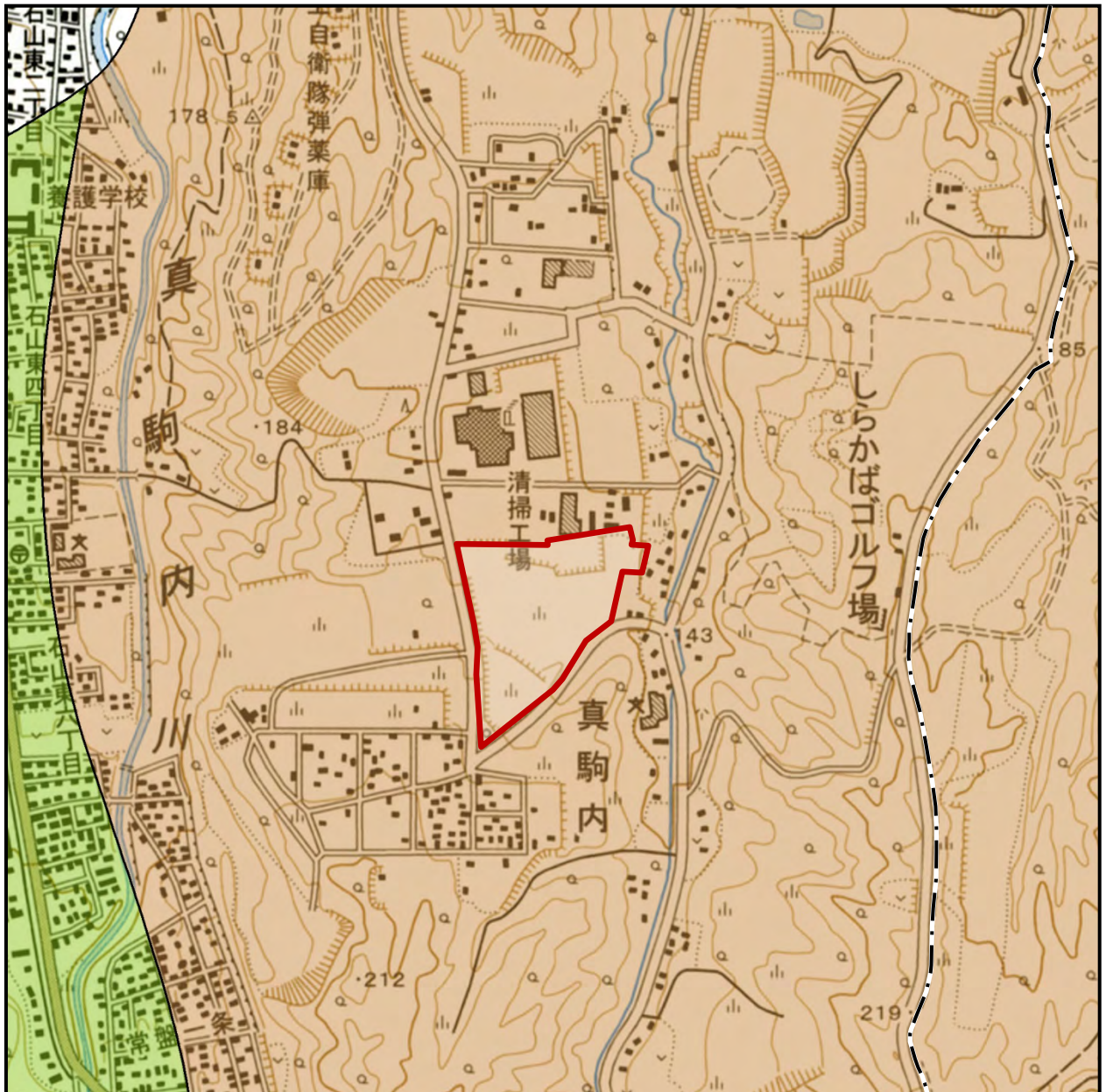
表 3-1-2-10 事業実施想定区域の周辺における土壌の分類<sup>44)</sup>

大分類	中分類	小分類
くろぼく土 <sup>※1</sup>	くろぼく土	くろぼく土壌
褐色低地土 <sup>※2</sup>	褐色低地土	褐色低地土壌

44) 国土庁土地局「土地分類図(土壌図)北海道 I (石狩・後志・胆振支庁)」(昭和 50 年)

※1 くろぼく土：腐植に富み黒色で軽くてきめの荒い表層土と明るい褐色の下層土をもつ土壌であり、主に火山灰の風化物を母材にして生成する。全国の畑地・果樹園地の半分を占め、見掛けは肥沃そうに見えるが、作物がリン酸欠乏になるので施肥管理が必要な火山灰土壌のことである。日本には多いが世界的には黒ボク土は稀少である。

※2 褐色低地土：河川が上流地域の岩石や土壌を浸食し運搬してきた物質が、下流のはんらん原などに堆積してできた母材から生成する土壌で、沖積平野の低位河岸段丘、扇状地、自然堤防、河床からやや離れた比較的安定な沖積面などの地下水位の低い排水のよい場所に分布する。







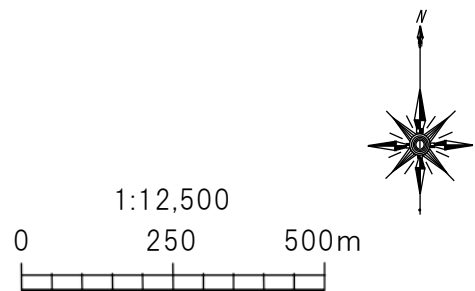
凡 例	
	事業実施想定区域
	区界
	くろぼく土壤
	褐色低地土壤

図 3-1-2-3 土壤分類図

※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(石山)を拡大して使用したものである



出典：国土庁土地局「土地分類図(土壤図)北海道 I (石狩・後志・胆振支庁)」(昭和 50 年)

オ その他

(ア) 電波障害

周辺のテレビ電波の受信エリア<sup>47)</sup>を、図 3-1-2-4(1)に示す。

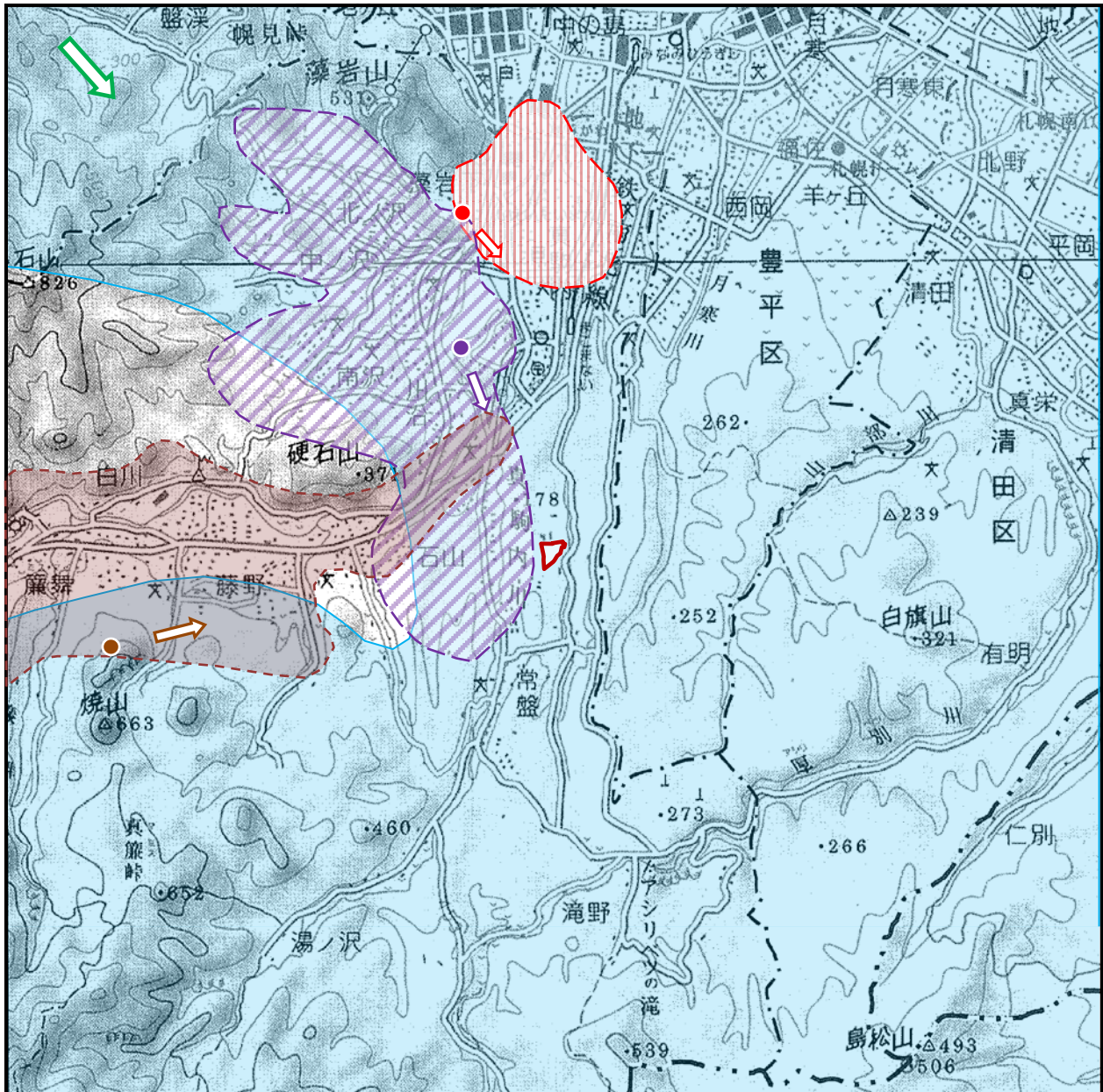
「藻南デジタル中継局」は約 20,000 世帯が対象であり、石山東地区や駒岡団地の西側地区を受信エリアに含んでいる。詳細を図 3-1-2-4(2)に示す。

この他、図 3-1-2-4(2)のとおり、電波法に基づく重要無線に係る「電波伝搬障害防止区域」<sup>48)</sup>が、しらかばゴルフ場の上空から東側に設定されているが、事業実施想定区域には関係していない。

47) 一般社団法人デジタル放送推進協会ホームページ「放送エリアのめやす」

48) 札幌市都市局建築指導部「電波伝搬障害防止区域図」(平成 26 年 9 月現在)












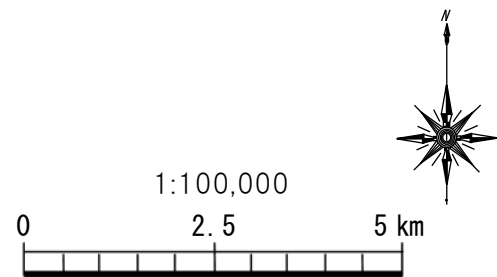
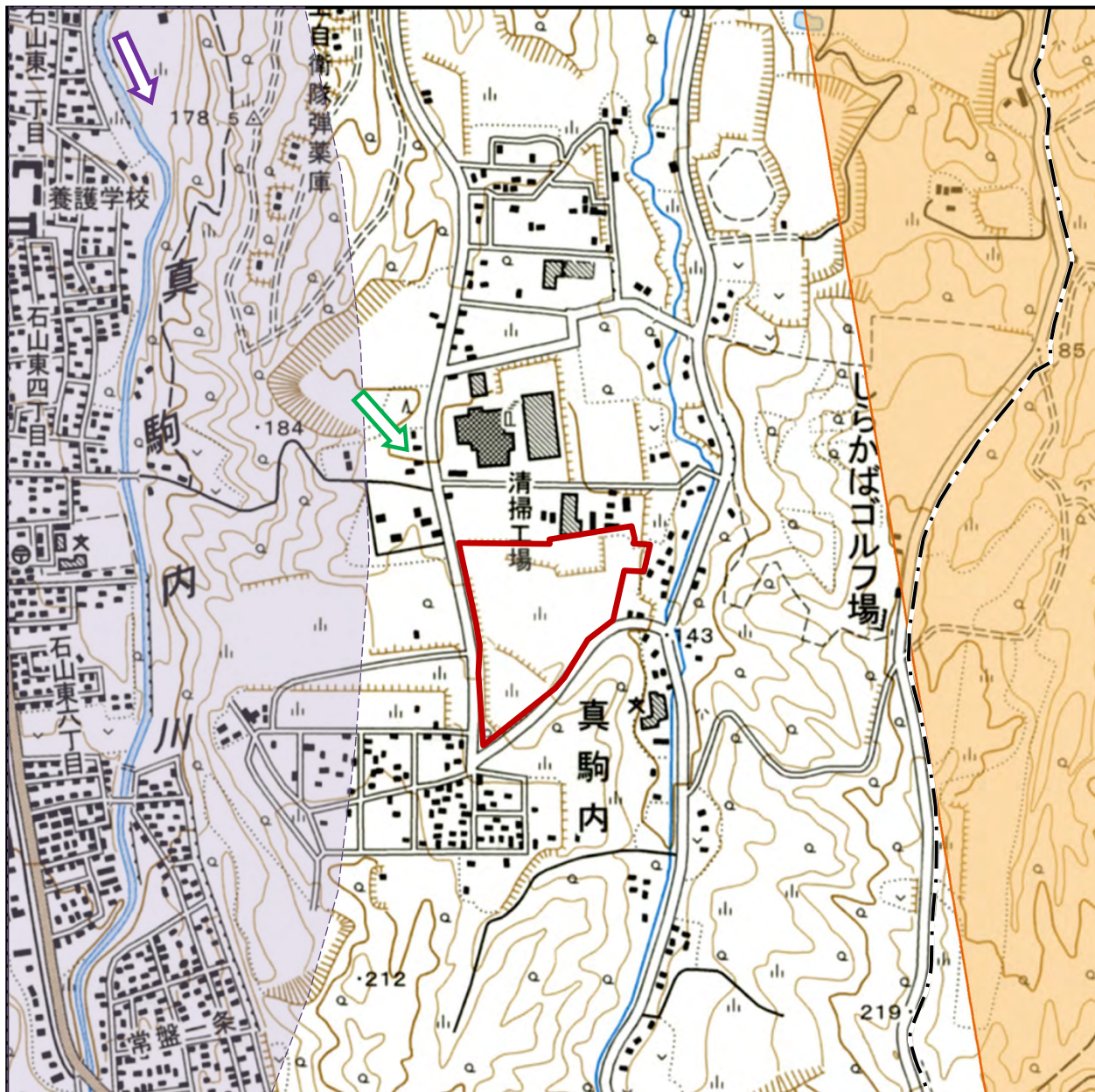
凡 例	
	事業実施想定区域
	手稲山送信局放送エリア
	藻南デジタル中継局放送エリア
	簾舞デジタル中継局放送エリア
	藻岩下デジタル中継局放送エリア
	中継局の位置
	電波の到来する方向

図 3-1-2-4(1)  
テレビ電波の受信エリアと送信局

※この地図は、国土地理院発行の 20 万分の 1 地勢図(札幌)を拡大して使用したものであ



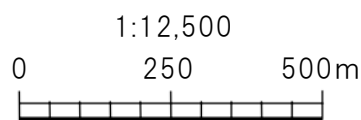


凡 例	
	事業実施想定区域
	区 界
	重要無線電波伝搬障害防止区域
	藻南デジタル中継局 <sup>1</sup> 放送エリア
	藻南中継局の電波到来方向
	手稲山送信局の電波到来方向

注1：藻南中継局は、真駒内公園 467-4 柏丘高台配水池にある。  
 2：図の全域は手稲山送信局のテレビ電波受信エリアである。

図 3-1-2-4(2)  
 テレビ電波受信エリア(拡大図)  
 及び電波伝搬障害防止区域

※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1  
 地形図(石山)を拡大して使用したものである



出典：札幌市都市局建築指導部「電波伝搬障害防止区域図」(平成26年9月現在)

(3) 地域の自然的状況に係る項目

ア 地形及び地質

(ア) 地形の分布状況

事業実施想定区域周辺の地形の分布状況を、表 3-1-3-1 及び図 3-1-3-1 に示す<sup>49)</sup>。

真駒内川から東側には、大起伏丘陵地である島松丘陵が広がっており、真駒内川の流域は扇状地性低地である。

表 3-1-3-1 事業実施想定区域の周辺における地形の分布状況<sup>49)</sup>

大分類	中分類	小分類	地形区
丘陵地	大起伏丘陵地	半島北部丘陵	島松丘陵
低地	扇状地性低地	石狩湾岸低地	札幌扇状地

(イ) 地質

事業実施想定区域の周辺における表層地質の分布状況を、表 3-1-3-2 及び図 3-1-3-2 に示す<sup>50)</sup>。

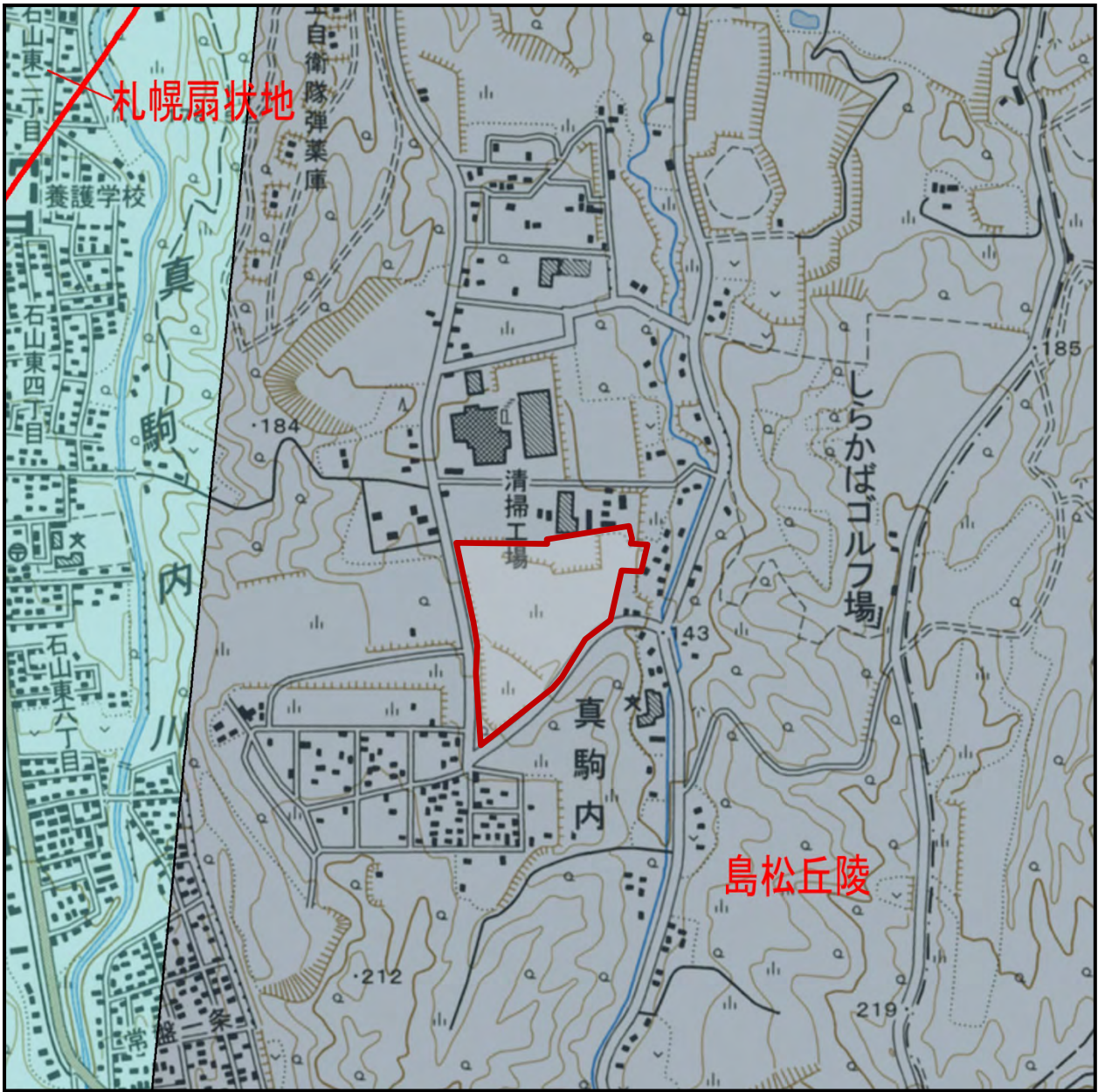
火山灰、火山灰質粘土、浮石質凝灰岩（火山灰）及び含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩が広範囲に分布しており、真駒内川流域には砂・礫・粘土が分布している。

表 3-1-3-2 事業実施想定区域及びその周辺における地質の分布状況<sup>50)</sup>

地質時代		地層名	記号	岩相	
第四紀	沖積世	現河川堆積物	Al	砂、礫、粘土	
	洪積世	月寒火山灰層	Tk	火山灰、火山灰質粘土	
		厚別砂礫層	Tr3	砂、礫	
		支笏火山噴出物	豊平浮石部層	Sh3	浮石質凝灰岩（火山灰）
			支笏熔結凝灰岩	Sh2	含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩

49) 国土庁土地局「土地分類図（地形分類図）北海道 I（石狩・後志・胆振支庁）」（昭和 50 年）

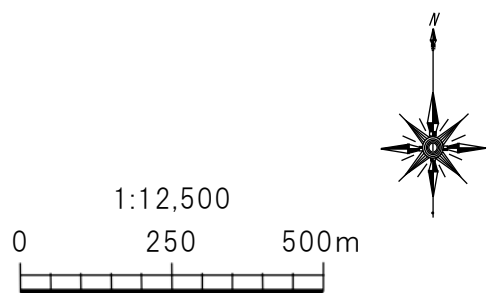
50) 北海道立地下資源調査所「5 万分の 1 地質図幅 石山」（昭和 30 年）



凡 例	
	事業実施想定区域
	区界
	大起伏丘陵地
	扇状地性低地
	地形地域区界線

図 3-1-3-1 地形分類図

※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(石山)を拡大して使用したものである



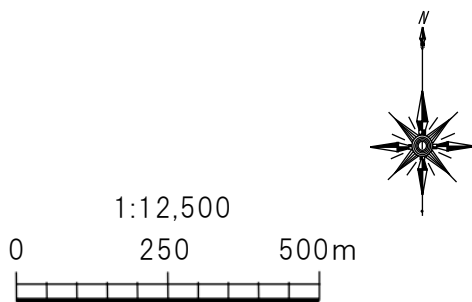
出典：国土庁土地局「土地分類図(地形分類図)北海道 I (石狩・後志・胆振支庁)」(昭和 50 年)



凡 例	
	事業実施想定区域
	区界
	砂、礫、粘土
	火山灰、火山灰質粘土
	砂、礫
	浮石質凝灰岩(火山灰)
	含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩

図 3-1-3-2 表層地質図

※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(石山)を拡大して使用したものである



出典：北海道立地下資源調査所「5万分の1地質図幅 石山」(昭和30年)

(ウ) 重要な地形・地質の分布状況

事業実施想定区域の周辺における重要な地形・地質は、表 3-1-3-3 に示す「日本の地形レッドデータブック」\*におけるランク C（緊急な保全が要求される）に該当する豊平川扇状地<sup>51)</sup>がある。ただし、豊平川扇状地は、図 3-1-3-3 のとおり、事業実施想定区域には含まれない。

事業実施想定区域は、扇状地の上流部にある火山灰台地に位置している。

表 3-1-3-3 重要な地形・地質<sup>51)</sup>

名称	カテゴリー	地形の特性	選定基準	ランク
豊平川	Ⅲ	渓谷・扇状地河川	③	C
カテゴリー		選定基準		ランク
I：変動地形－地殻変動が激しい。 II：火山地形－火山活動が盛ん。 III：河川の作用や風化・侵食によってできる地形－降水量の多さを反映して河川による浸食が活発。 IV：気候を反映した地形－温帯に位置するが、南北に長い列島であるため、気候の地域差が大きい。また氷河時代の痕跡が強く残されている。 V：海岸地形－周囲を海に囲まれ、波などによる浸食も活発である。また氷河時代以降の海面上昇の影響を強く受けている。 VI：地質を反映した地形－地質が複雑。 VII：その他の重要な地形。		①：日本の自然を代表する典型的かつ希少、貴重な地形。 ②：①に準じ、地形学の教育上重要な地形もしくは地形学の研究の進展に伴って新たに注目したほうがよいと考えられる地形。 ③：多数存在するが、なかでも最も典型的な形態を示し、保存することが望ましい地形。 ④：動物や植物などの生育地として重要な地形。		A：現在の保存状況がよく、今後もその継続が求められる地形。 B：現時点で低強度の破壊を受けている地形。今後、破壊が継続されれば、消滅が危惧される。 C：現在著しく破壊されつつある地形。また、大規模開発計画などで破壊が危惧される地形。このランクに属する地形は現状のままでは消滅すると考えられるので、最も緊急な保全が要求される。 D：重要な地形でありながら、すでに破壊され、現存しない地形。

日本地質学会では、「北海道地質百選」<sup>52)</sup>の候補として、南区のいくつかの地質を挙げており、参考として表 3-1-3-4 に示す。

これらはすべて事業実施想定区域の外部に位置しており、最も近い藻南公園は事業実施想定区域から約 2.8 km の距離にある。

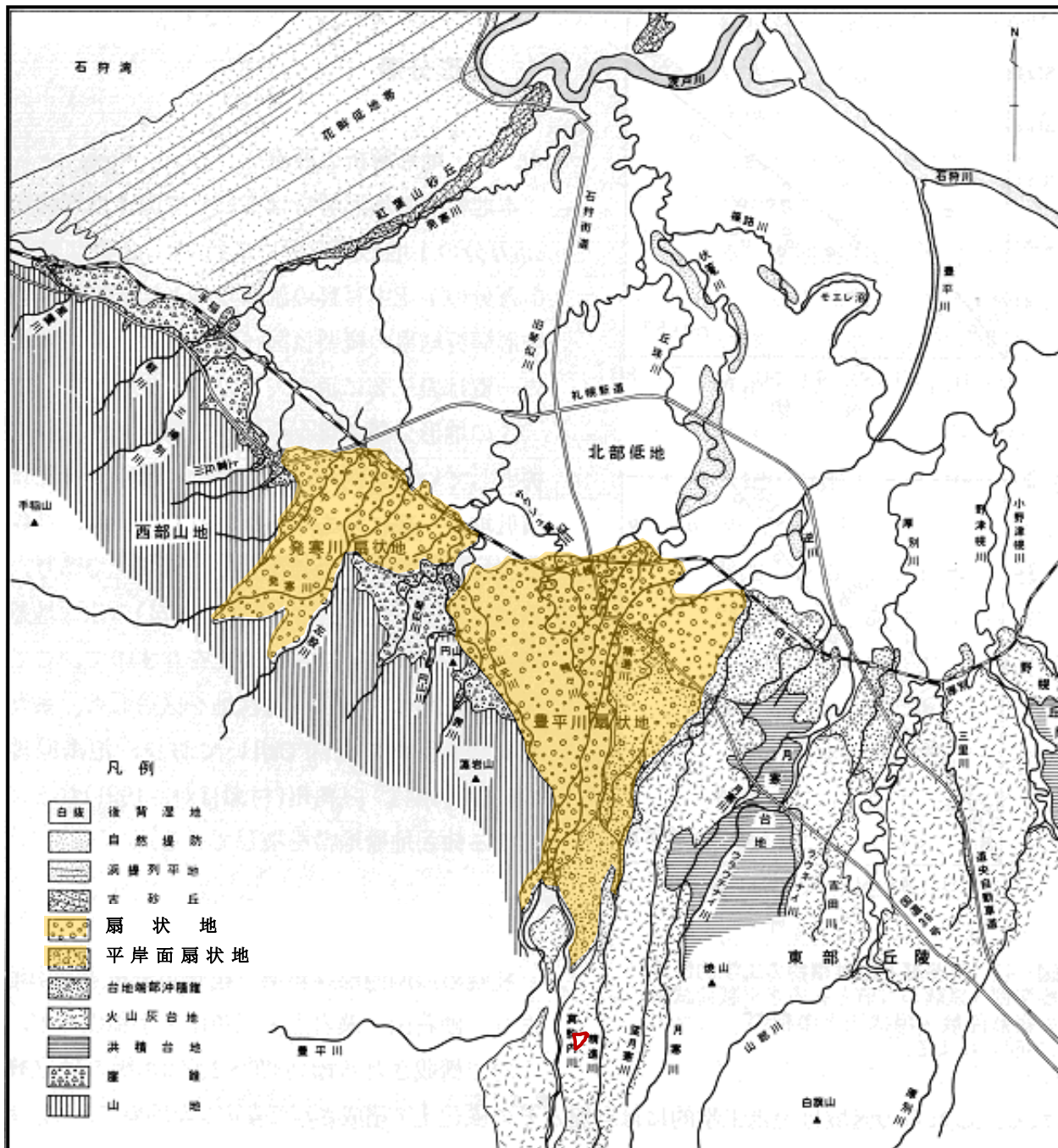
表 3-1-3-4 北海道の地質百選（候補）<sup>52)</sup>

名称	ID	内容	位置
藻南公園のハイアロクラスタイト	0089	新第三紀西野層の水冷破碎岩	南区真駒内柏丘
硬石山デイサイト	0375	柱状節理の露頭	南区石山
札幌軟石石切場跡(藻南公園)	0376	明治時代の石切場	南区真駒内
札幌軟石の採掘現場(辻砕石工業)	0517	明治 25 年以来砕石	南区常盤
真駒内公園の河岸段丘	0679	河岸段丘	南区真駒内

51) (株)古今書院「日本の地形レッドデータブック第 1 集 新装版」\* (平成 12 年 12 月)

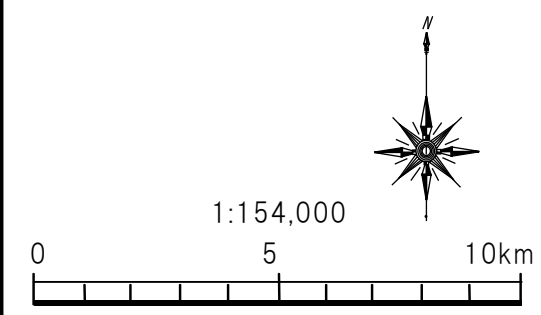
52) 日本地質学会北海道支部「北海道地質百選」(2008 年)

\*日本の地形レッドデータブック：現在破壊の危機にあり保存が求められる日本の地形についてまとめたデータブックで、一般的なレッドデータブック（絶滅のおそれのある野生生物について記載されたデータブック）の地形版。



凡 例	
	事業実施想定地域
	扇状地及び平岸面扇状地

図 3-1-3-3 札幌地域の地形



出典：北海道土質コンサルタント,札幌表層地盤図(2m深図),1994)

(エ) 活断層

事業実施想定区域の周辺においては、図 3-1-3-4 のとおり『月寒背斜』が豊平区西岡付近まで確認されている<sup>53)</sup>。

また、札幌近郊では、市の北東部に活断層が多く確認されている。

(オ) 地盤の強さ

事業実施想定区域及びその周囲の表層地盤増幅率の状況<sup>54) 55)</sup>を、図 3-1-3-5 に示す。

表層地盤増幅率とは、地震時の揺れの大きさを数値化したのもので、数値が大きいほど地盤は弱く、揺れは大きくなる。

我が国においては、増幅率が「1.5」を超えれば一般に要注意とされ、「2.0」以上の場合には強い揺れへの備えが必要とされている。

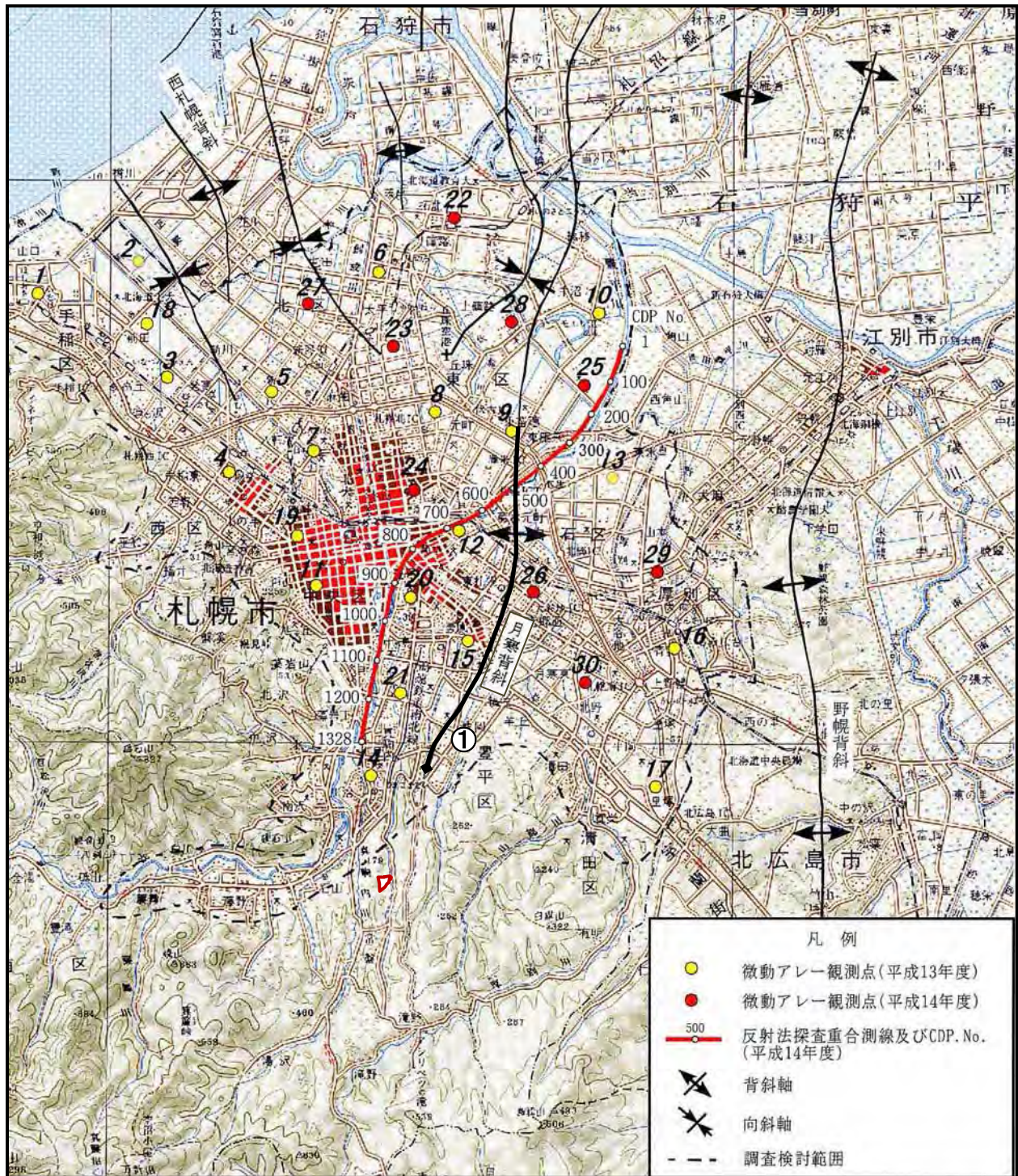
事業実施想定区域の表層地盤増幅率は「1.3」前後であり、比較的増幅率が低く揺れにくい地盤である。

53) 北海道大学 岡 孝雄, 1997, 北海道とその周辺海域のネオテクトニクスに関する諸問題一付, 札幌付近での活断層の存在と地震発生についての考察, 加藤誠教授退官記念論文集, pp427-449

54) 独立行政法人 防災科学技術研究所「J-SHIS 地震ハザードステーション」(2014 年版)

55) 藤本一雄、翠川三郎「近接間接点ペアの強震記録に基づく地盤増幅度と地盤の平均 S 波速度の関係」日本地震工学会論文集, 第 6 巻, 第 1 号, pp.11-22,2006

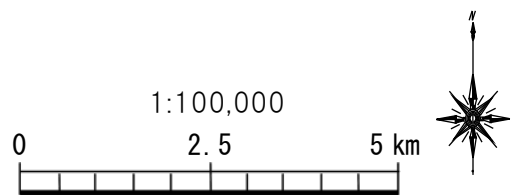




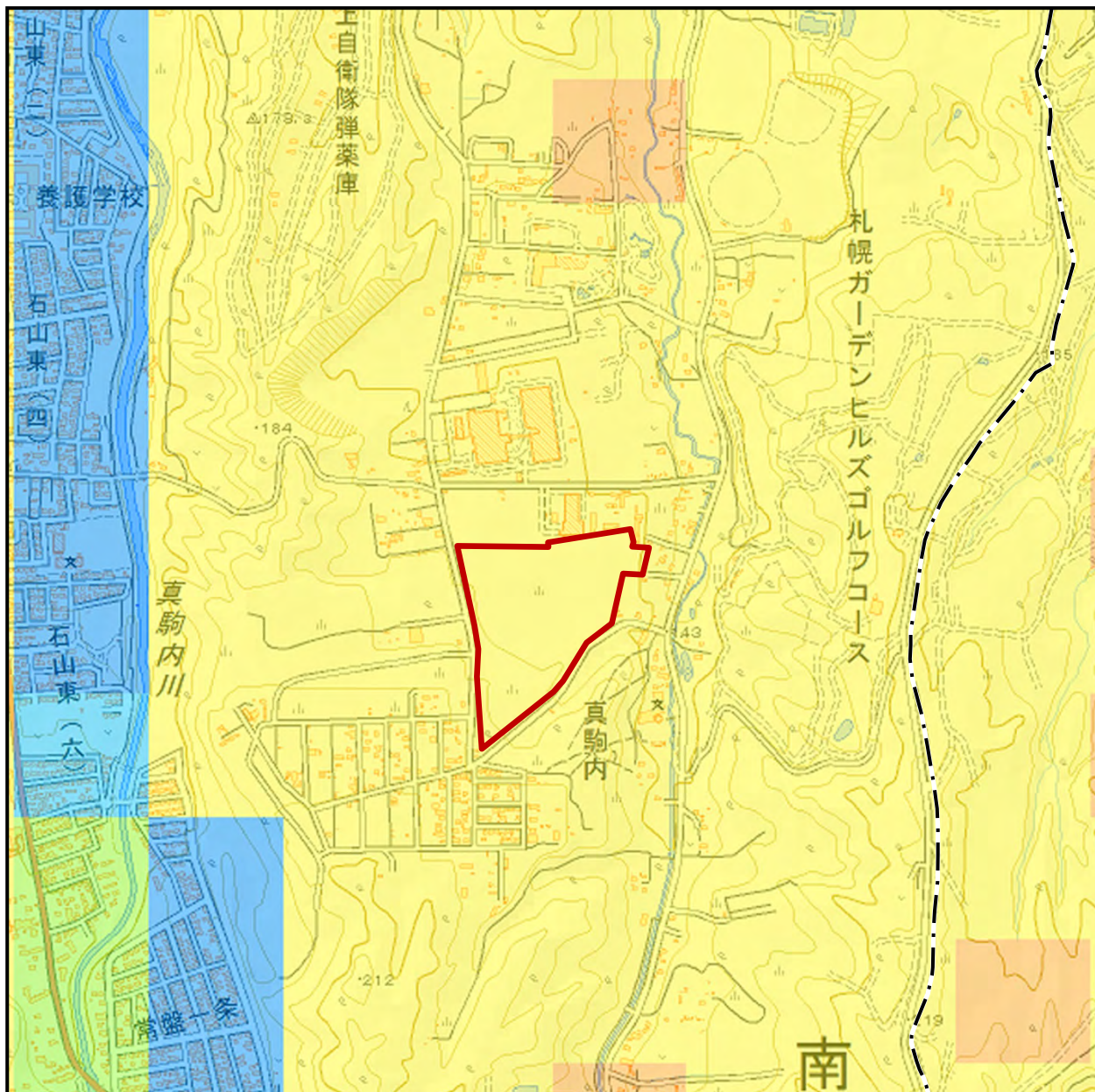
凡 例	
▽	事業実施想定地域
①	月寒背斜



図 3-1-3-4

札幌市周辺の褶曲構造の分布



出典) 北海道大学 岡 孝雄, 1997, 北海道とその周辺海域のネオテクトニクスに関する諸問題一付, 札幌付近での活断層の存在と地震発生についての考察, 加藤誠教授退官記念論文集, pp427-449



凡 例	
	事業実施想定区域
	区 界

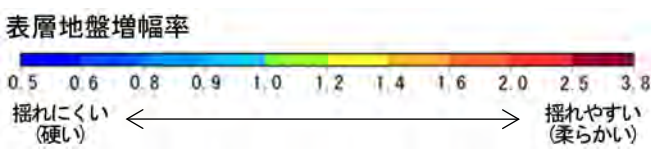
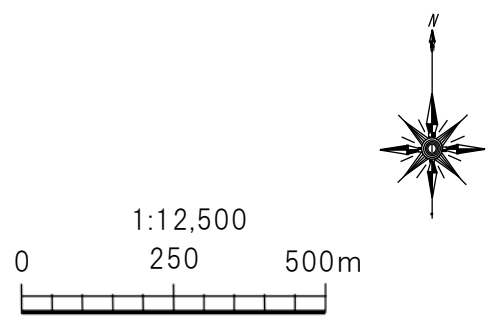


図 3-1-3-5 表層地盤増幅率

※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(石山)を拡大して使用したものである



出典：独立行政法人 防災科学技術研究所「J-SHIS 地震ハザードステーション」(2014年現在)

## イ 動植物の生息又は生育、植生及び生態系

### (ア) 植 物

#### a 植物種及び植物群落の状況

##### (a) 植物種

事業実施想定区域及びその周辺に生育する植物種について、文献資料及び現地確認により全 105 科 571 種を確認した<sup>24) 56) 57) 58) 59)</sup>。

##### (b) 植物群落

事業実施想定区域及び周辺における植物群落の分布状況を、図 3-1-3-6 の現存植生図にまとめた<sup>60) 61)</sup>。

現在の事業実施想定区域の周辺には、シラカンバーミズナラ群落が広がり、部分的にササーシラカンバ群落やオオヨモギ群落、カラマツ植林、ゴルフ場やグラウンドの芝地が点在している。

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」(平成 17 年 5 月)

56) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(精進川)」

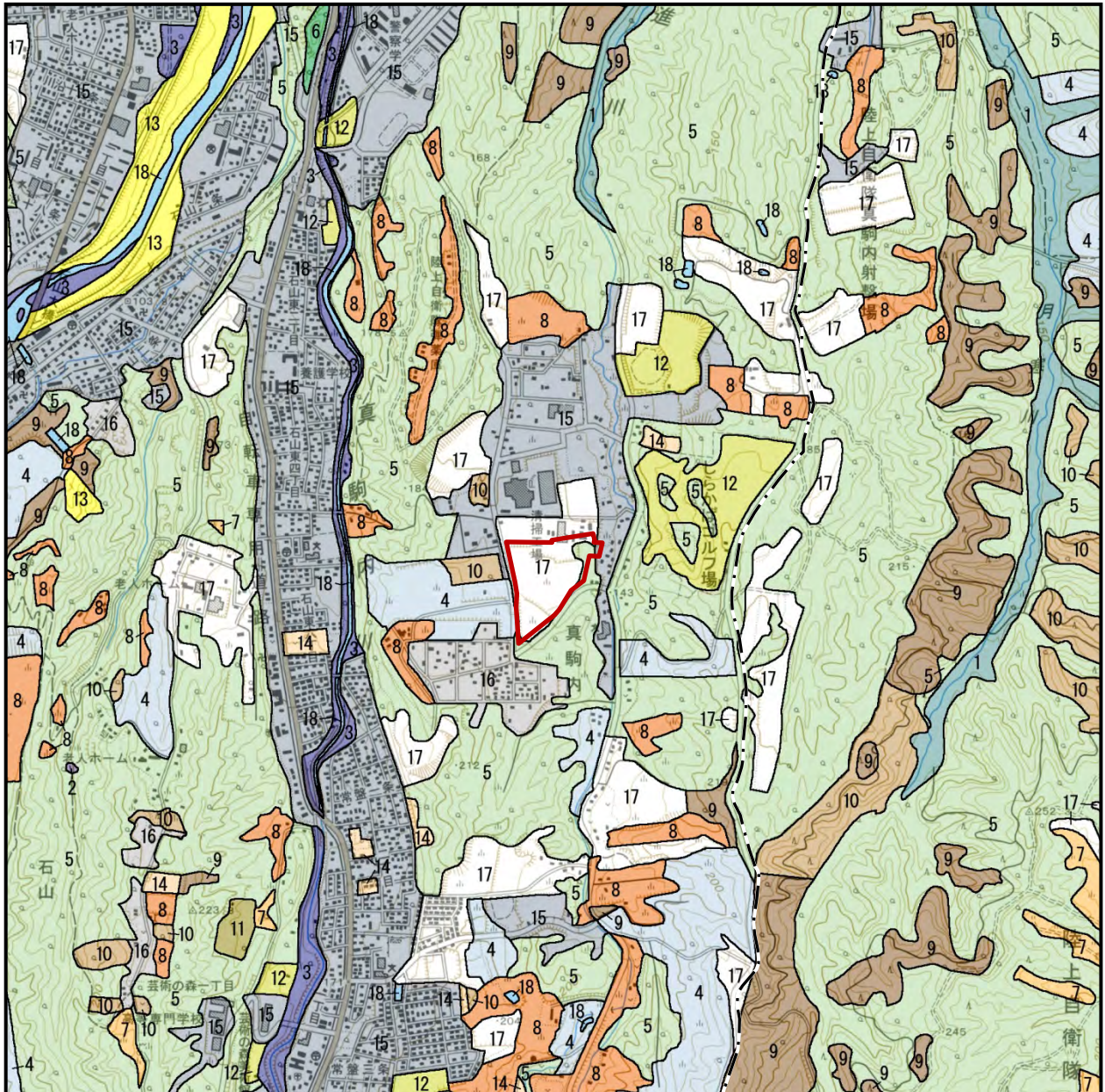
57) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(真駒内川)」

58) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」(平成 26 年 3 月)

59) 札幌市立駒岡小学校「駒岡の大地 森のしずく 札幌市立駒岡小学校開校 50 周年記念誌」(1999 年)

60) 環境省「第 6 回・第 7 回自然環境保全基礎調査 植生調査 石山」(平成 17 年)

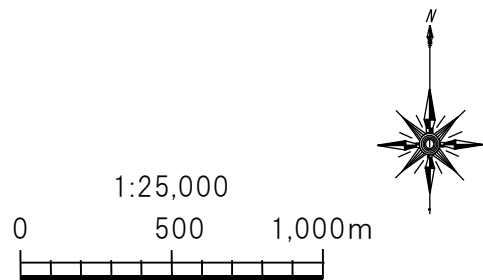
61) 環境省「第 6 回・第 7 回自然環境保全基礎調査 植生調査 清田」(平成 17 年)



凡 例			
	事業実施想定区域		
	区 界		
	1 ハルニレ群落		10 カラマツ植林
	2 ハンノキ-ヤチダモ群落		11 外国産樹種植林
	3 ヤナギ高木群落(Ⅳ)		12 ゴルフ場・芝地
	4 ササ-シラカンバ群落		13 牧 草 地
	5 シラカンバ-ミズナラ群落		14 畑 雑 草 群 落
	6 コナラ-ミズナラ群落		15 市 街 地
	7 ササ群落(V)		16 緑の多い住宅地
	8 オオヨモギ群落		17 造 成 地
	9 トドマツ植林		18 開 放 水 面

図 3-1-3-6 現存植生図

※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(石山)を拡大して使用したものである



出典：環境省「第6回・第7回自然環境保全基礎調査 植生調査 石山」(平成17年)  
 環境省「第6回・第7回自然環境保全基礎調査 植生調査 清田」(平成17年)

b 重要な植物の分布状況

(a) 植物種

事業実施想定区域及びその周辺における重要な植物種については、文献資料及び現地確認により表 3-1-3-5 に示す 19 科 25 種を確認した<sup>24) 56) 57) 58) 59)</sup>。

表 3-1-3-5 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（植物）

分類群	科名	種名	事業実施想定区域及び周辺の記録	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
被子植物 離弁花類	タデ	ノダイオウ <sup>57)</sup>	—					VU			
	ナデシコ	エゾマンテマ <sup>57)</sup>	—					VU	Vu	貴	
	キンポウゲ	アカミノレイヨウショウマ <sup>24)</sup>	—							貴	
		フクジュソウ <sup>24) 57) 59)</sup>	▲ <sup>59)</sup>						Vu		
	シラネアオイ	シラネアオイ <sup>57)</sup>	—						Vu		
	ボタン	ヤマシャクヤク <sup>58)</sup>	● <sup>58)</sup>					NT	R		
	アブラナ	モイワナズナ <sup>57)</sup>	—					EN	Vu	貴	
	ユキノシタ	ヤマハナソウ <sup>57)</sup>	—							貴	
	バラ	エゾシモツケ <sup>57)</sup>	—					VU			
	マメ	イワオウギ <sup>57)</sup>	—						R		
	アカバナ	ヤマタニタデ <sup>57)</sup>	—					VU			
合弁花類	イチヤクソウ	オオウメガサソウ <sup>24)</sup>	—					NT			
	リンドウ	ホソバツルリンドウ <sup>57)</sup>	—					VU			
	シソ	カイジンドウ <sup>57)</sup>	—					VU			
	ハマウツボ	キヨスミウツボ <sup>57)</sup>	—						R		
	キク	イワヨモギ <sup>57)</sup>	—					VU			
		エゾムカシヨモギ <sup>57)</sup>	—								貴
単子葉植物	ヒルムシロ	イトモ <sup>24)</sup>	—					NT			
	ユリ	カタクリ <sup>57) 59)</sup>	▲ <sup>59)</sup>						N		
	ミクリ	タマミクリ <sup>24)</sup>	—					NT			
	ラン	サルメンエビネ <sup>57) 59)</sup>	▲ <sup>59)</sup>					VU	En		
		クゲヌマラン <sup>57)</sup>	—					VU			
		トケンラン <sup>57)</sup>	—					VU			
		フタバラン <sup>24)</sup>	—						R		
	ヒロハトンボソウ <sup>57)</sup>	—					VU				
	19 科	25 種	4 種	0	0	0	0	16	10	5	0

注 1：ヒノキアスナロを確認したが、植栽されたものであり自生ではないため選定しなかった。

2：確認位置が不明な種を「—」と表記した。

3：「●」は平成 25 年度調査等により事業実施想定区域周辺 1 km 以内の位置情報が明確なものを示す。

4：「▲」は駒岡小学校記念誌において学校林で観察報告のあるものを示す。

5：種名上の番号<sup>□)</sup>は、文献及び現地確認の該当番号を示す。

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成 17 年 5 月）

56) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(精進川)」

57) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(真駒内川)」

58) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」（平成 26 年 3 月）

59) 札幌市立駒岡小学校「駒岡の大地 森のしずく 札幌市立駒岡小学校開校 50 周年記念誌」（1999 年）

重要種の選定基準①～④は、法及び条例に基づくもの、⑤～⑧は国や北海道により学術的に重要なリストを示すものである。

【選定基準】

- ①：「文化財保護法」（昭和 25 年 法律第 214 号）に基づく天然記念物  
特天：特別天然記念物 天：天然記念物
- ②：「北海道文化財保護条例」（昭和 30 年 北海道条例第 83 号）に基づく天然記念物
- ③：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）  
に基づく希少野生動植物種  
内：国内希少野生動植物種
- ④：「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」（平成 25 年 北海道条例第 9 号）に基づく  
希少野生動植物  
指：指定希少野生動植物種 特：特定希少野生動植物種
- ⑤：「レッドデータブックに掲載すべき日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(第4  
次レッドリスト)」(環境省 2012年8月)による選定種  
EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類  
VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足  
LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑥：「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001」（北海道 平成 13 年 3 月）による  
選定種  
Ex：絶滅種 Ew：野生絶滅種 Cr：絶滅危機種 En：絶滅危惧種  
Vu：絶滅危急種 R：希少種 Lp：地域個体群 N：留意種
- ⑦：「自然環境保全調査報告書(第 1 回緑の国勢調査)」(環境庁 昭和 51 年 3 月)による  
選定種  
貴：貴重植物
- ⑧：「第 2 回 自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書(全国版)」(環境庁、昭和 57 年)、  
「第 3 回 自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落Ⅱ(北海道版)」(環境庁、昭和 63 年)、  
「第 5 回 自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(環境庁、平成 12 年)による選定種  
特：特定植物群落

## (イ) 動物

### a 動物種及び地域個体群の状況

事業実施想定区域及びその周辺に生息する動物について、文献資料及び現地確認により、哺乳類 4 目 6 科 13 種、鳥類 13 目 36 科 89 種、両生類 2 目 3 科 4 種、は虫類 1 目 3 科 4 種、魚類 6 目 8 科 13 種、昆虫類 14 目 193 科 1,045 種、底生動物 16 目 55 科 101 種を確認した<sup>24) 56) 57) 58) 59) 62) 65) 66)</sup>。

### b 重要な種（動物）の分布状況

事業実施想定区域及びその周辺に生息する重要な種（動物）については、哺乳類 2 目 2 科 2 種、鳥類 7 目 8 科 13 種、両生類 1 目 1 科 1 種、魚類 5 目 7 科 8 種、昆虫類 4 目 7 科 11 種、底生動物 2 目 2 科 2 種を確認した。

重要種の確認状況を、表 3-1-3-6～3-1-3-11 に示す。重要種の選定基準は、概ね植物と同様で、①～④は法及び条例に基づくもの、⑤～⑧は国や北海道により学術的に重要なリストを示すものである。

#### 【選定基準】

- ①：「文化財保護法」（昭和 25 年 法律第 214 号）に基づく天然記念物  
特天：特別天然記念物 天：天然記念物
- ②：「北海道文化財保護条例」（昭和 30 年 北海道条例第 83 号）に基づく天然記念物
- ③：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）  
に基づく希少野生動植物種  
内：国内希少野生動植物種
- ④：「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」（平成 25 年 北海道条例第 9 号）に基づく  
希少野生動植物  
指：指定希少野生動植物種 特：特定希少野生動植物種
- ⑤：「レッドデータブックに掲載すべき日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト（第 4 次レッドリスト）」（環境省 2012 年 8 月）による選定種  
EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧ⅠA 類 EN：絶滅危惧ⅠB 類  
VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足  
LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑥：「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001」（北海道 平成 13 年 3 月）による  
選定種  
Ex：絶滅種 Ew：野生絶滅種 Cr：絶滅危機種 En：絶滅危惧種  
Vu：絶滅危急種 R：希少種 Lp：地域個体群 N：留意種
- ⑦：「自然環境保全調査報告書（第 1 回緑の国勢調査）」（環境庁 昭和 51 年 3 月）による選定種  
主：主要野生動物 リ：すぐれた野生動物リスト 図：すぐれた自然図
- ⑧：「第 2 回自然環境保全基礎調査報告書（緑の国勢調査）」（環境庁 昭和 58 年 3 月）に  
よる選定種  
稀：稀少種 調：調査対象種 指：指標昆虫類 特：特定昆虫類

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成 17 年 5 月）

56) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース（精進川）」

57) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース（真駒内川）」

58) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」（平成 26 年 3 月）

59) 札幌市立駒岡小学校「駒岡の大地 森のしずく 札幌市立駒岡小学校開校 50 周年記念誌」（1999 年）

62) 環境庁「第 2 回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 胆振・石狩・空知」（昭和 56 年）

65) (財)札幌市公園緑地協会「札幌市豊平川さけ科学館館報 第 13 号(1999 年度)」（2001 年 3 月）

66) (財)札幌市公園緑地協会「札幌市豊平川さけ科学館館報 第 14 号(2000 年度)」（2002 年 3 月）

表 3-1-3-6 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（哺乳類）

目名	科名	種名	事業実施 想定区域 周辺の記録	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
ネズミ	リス	エゾモモンガ <sup>24)</sup>	—								主
ネコ	イタチ	テン属の一種(エゾク ロテンの可能性) <sup>24) 58)</sup>	●					NT			主
2目	2科	2種	1種	0	0	0	0	1	0		2

注：事業実施想定区域の周辺 1 km以内の確認種を「●」で示し、確認位置が不明な種を「—」で示した。

表 3-1-3-7 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（鳥類）

目名	科名	種名	事業実施 想定区域 周辺の記録	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
キジ	キジ	エゾライチョウ <sup>24)</sup>	—					DD	R		
ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ <sup>24)</sup>	—					NT	R		
アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ <sup>24) 58)</sup>	●								稀
タカ	ミサゴ	ミサゴ <sup>24)</sup>	—					NT	Vu		稀
	タカ	ハチクマ <sup>24)</sup>	—					NT	R		稀
		オジロワシ <sup>24)</sup>	—	天		内		VU	En	主	稀
		ハイタカ <sup>24)</sup>	—					NT	Vu		
		オオタカ <sup>24)</sup>	—			内		NT	Vu		稀
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ <sup>57)</sup>	—							主	
		ヤマセミ <sup>57)</sup>	—						R	主	
キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ <sup>24)</sup>	—						N		
		クマゲラ <sup>24) 58)</sup>	●	天				VU	Vu	主	稀
ハヤブサ	ハヤブサ	チゴハヤブサ <sup>24) 57)</sup>	—								稀
7目	8科	13種	2種	2	0	2	0	8	10	4	7

注：事業実施想定区域の周辺 1 km以内の確認種を「●」で示し、確認位置が不明な種を「—」で示した。

表 3-1-3-8 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（両生類）

目名	科名	種名	事業実施 想定区域 周辺の記録	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
サンショウウオ	サンショウウオ	エゾサンショウウオ <sup>24)</sup>	—					DD	N	主	調
1目	1科	1種		0	0	0	0	1	1	1	1

注：確認位置が不明な種を「—」と表記した。

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成 17 年 5 月）

57) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(真駒内川)」

58) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」（平成 26 年 3 月）



表 3-1-3-9 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（魚類）

目名	科名	種名	事業実施 想定区域 周辺の記録	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ北方種 <sup>24) 57)</sup>	—					VU			
		カワヤツメ <sup>57)</sup>	—					VU			
サケ	サケ	サクラマス(ヤマメ) <sup>24) 56)</sup> <sup>57) 66)</sup>	—					NT	N		
	アユ	アユ <sup>57) 66)</sup>	—						R		
コイ	コイ	エゾウグイ <sup>56) 57) 66)</sup>	—						N		
	ドジョウ	エゾホトケドジョウ <sup>66)</sup>	—					EN			
トゲウオ	トゲウオ	トミヨ属淡水型 <sup>24) 56)</sup>	—								調
カサゴ	カジカ	ハナカジカ <sup>24) 57) 66)</sup>	—						N		
5目	7科	8種		0	0	0	0	4	4	0	1

注：確認位置が不明な種を「—」と表記した。

表 3-1-3-10 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（昆虫類）

目名	科名	種名	事業実施 想定区域 周辺の記録	選定基準								
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
トンボ	イトトンボ	キタイトンボ <sup>24)</sup>	—								リ 図	特 特
		ルリイトトンボ <sup>24)</sup>	—									
コウチュウ	オサムシ	セアカオサムシ <sup>24)</sup>	—					NT				
	ミズスマシ	コミズスマシ <sup>24)</sup>	—					EN	R			
		ミズスマシ <sup>24)</sup>	—					VU	R			
ハチ	アリ	ツノアカヤマアリ <sup>58)</sup>	●					DD				
		テラニシケアリ <sup>58)</sup>	●					NT				
		エゾアカヤマアリ <sup>24) 58)</sup>	●					VU				
	スズメバチ	モンズズメバチ <sup>24)</sup>	—					DD				
チョウ	タテハチョウ	ウラギンスジヒョウモン <sup>24)</sup>	—					VU				
	ヤガ	キスジウスキヨトウ <sup>24)</sup>	—					VU				
4目	7科	11種	3種	0	0	0	0	9	2	1	2	

注：事業実施想定区域の周辺1km以内の確認種を「●」で示し、確認位置が不明な種を「—」で示した。

表 3-1-3-11 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（底生動物）

目名	科名	種名	事業実施 想定区域 周辺の記録	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
エビ	アメリカザリガニ	ニホンザリガニ <sup>24) 56) 57) 65)</sup>	●					VU			
基眼	モノアラガイ	モノアラガイ <sup>56)</sup>	—					NT			
2目	2科	2種	1種	0	0	0	0	2	0	0	0

注：事業実施想定区域の周辺1km以内の確認種を「●」で示し、確認位置が不明な種を「—」で示した。

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成17年5月）

56) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(精進川)」

57) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(真駒内川)」

58) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」（平成26年3月）

65) (財)札幌市公園緑地協会「札幌市豊平川さけ科学館館報 第13号(1999年度)」（2001年3月）

66) (財)札幌市公園緑地協会「札幌市豊平川さけ科学館館報 第14号(2000年度)」（2002年3月）

(ウ) 生態系

a 地域の生態系の分布状況

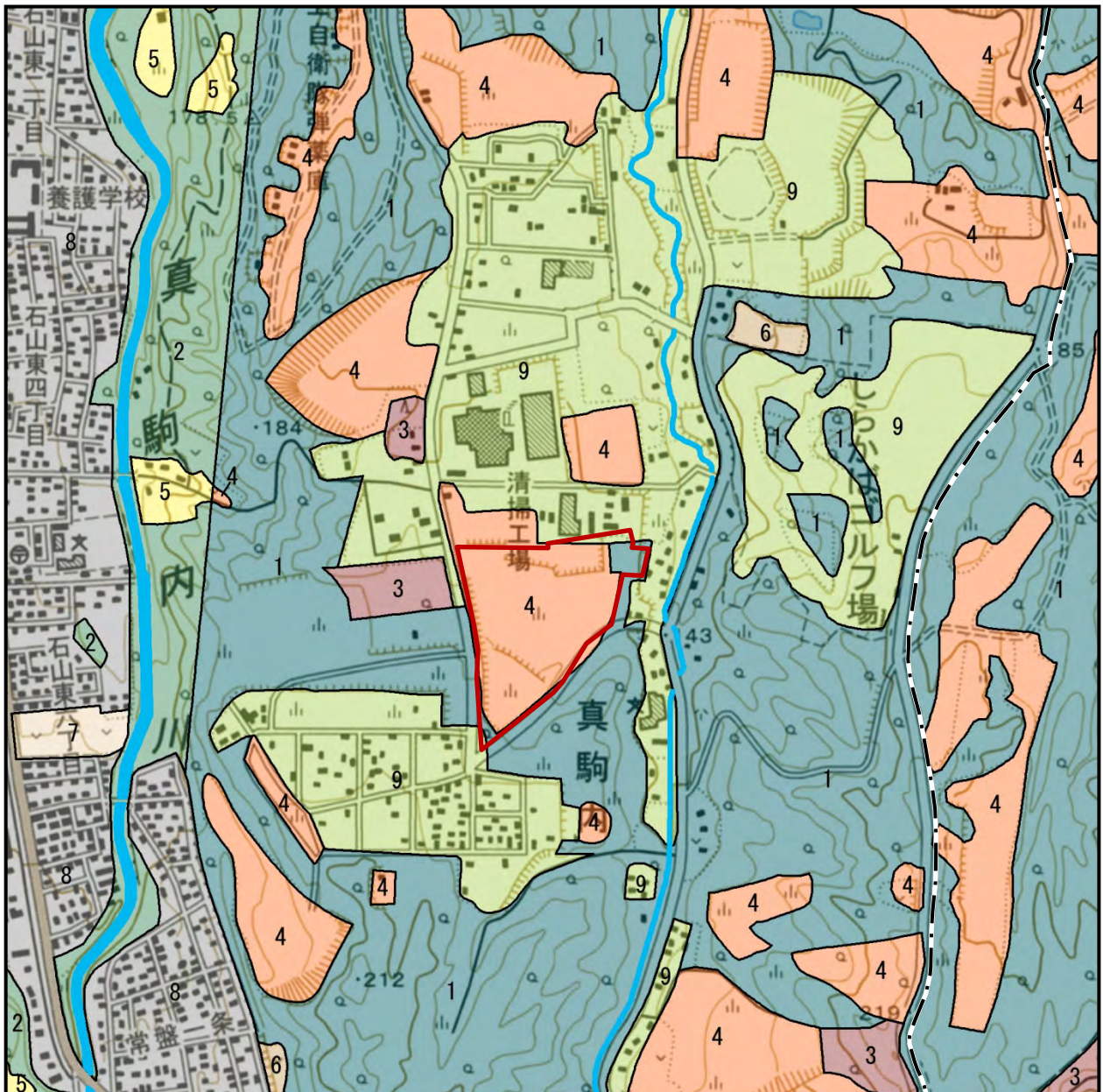
地域の生態系の分布状況を把握するため、事業実施想定区域及びその周辺の地域を特徴づける自然環境について、類型区分を行った。

地形分類図、土壌図、現存植生図、文献資料及び現地確認等をもとに作成した10種の自然環境類型区分を、表3-1-3-12及び図3-1-3-7に示す。

表3-1-3-12 自然環境類型区分表

自然環境類型区分	分布状況	地形区分・土壌の状況	植生区分の状況
1 丘陵地－自然林	事業実施想定区域の周辺全体に分布する。	大起伏丘陵地に地形分類され、主に火山灰、火山灰質粘土に覆われる。	シラカンバーミズナラ群落、ササーシラカンバ群落が分布する。
2 低地－自然林	主に真駒内川沿いに分布する。	扇状地性低地に地形分類され、砂・礫・粘土、含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩、浮石質凝灰岩（火山灰）、砂、礫、火山灰、火山灰質粘土に覆われる。	ヤナギ高木群落（Ⅳ）、シラカンバーミズナラ群落、ササーシラカンバ群落が分布する。
3 丘陵地－人工林	事業実施想定区域周辺と南東部に分布する。	大起伏丘陵地に地形分類され、浮石質凝灰岩（火山灰）、火山灰、火山灰質粘土に覆われる。	トドマツ植林、カラマツ植林が分布する。
4 丘陵地－雑草草原	事業実施想定区域全体に疎らに分布する。	大起伏丘陵地に地形分類され、浮石質凝灰岩（火山灰）、含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩、火山灰、火山灰質粘土に覆われる。	主にオオヨモギ群落と造成に生育し始めたススキ、オオアワダチソウ等の雑草種が分布する。
5 低地－雑草草原	真駒内川右岸沿いに小規模に分布する。	扇状地性低地に地形分類され、含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩、浮石質凝灰岩（火山灰）、火山灰、火山灰質粘土に覆われる。	主にオオヨモギ群落が分布する。
6 丘陵地－畑雑草群落	事業実施想定区域の東部や事業実施想定区域周辺の南部に小規模分布する。	大起伏丘陵地に地形分類され、主に浮石質凝灰岩（火山灰）に覆われる。	畑地及び畑地周辺に成立する雑草群落であり、スギナ、シロザ、ツククサ等が主な構成種である。
7 低地－畑雑草群落	真駒内川左岸の住宅地の中に小規模に分布する。	扇状地性低地に地形分類され、砂・礫・粘土に覆われる。	畑地及び畑地周辺に成立する雑草群落であり、スギナ、シロザ、ツククサ等が主な構成種である。
8 市街地	事業実施想定区域周辺の西部に真駒内川に沿って住宅密集地が分布する。	扇状地性低地に地形分類され、主に砂・礫・粘土に覆われる。島松丘陵側は含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩、浮石質凝灰岩（火山灰）に覆われる。	植生はほとんどみられない。
9 緑の多い住宅地・管理草地	事業実施想定区域周辺とその南部に分布する。	大起伏丘陵地に地形分類され、浮石質凝灰岩（火山灰）、含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩、火山灰、火山灰質粘土に覆われる。	主に住宅地、公園緑地、ゴルフ場などに利用されており、路傍草本の生育や芝が見られる。
10 水域	事業実施想定区域周辺の南から北へ流下する。	真駒内川と精進川の流水環境が分布する。	真駒内川沿いは主にヤナギ高木林に分布する。精進川では住宅地を流下しており、沿いにシラカンバ、ヤナギ類などの先駆樹種が疎らに生育する程度である。

注：類型区分の番号は、図3-1-3-7に対応している。

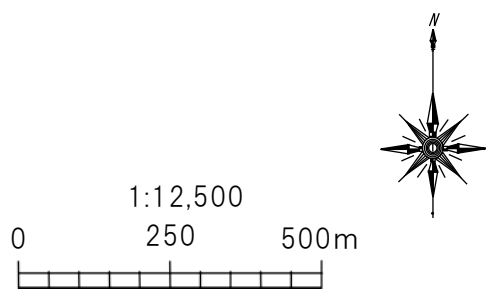


凡 例	
	事業実施想定区域
	区 界
	丘陵地 - 自然林
	低地 - 自然林
	丘陵地 - 人工林
	丘陵地 - 雑草草原
	低地 - 雑草草原
	丘陵地 - 畑雑草群落
	低地 - 畑雑草群落
	市 街 地
	緑の多い住宅地・管理草地
	水 域

注：類型区分番号は、本文中の表 3-1-3-12 に対応している。

図 3-1-3-7 自然環境類型区分図

※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(石山)を拡大して使用したものである



出典：現存植生図、地形分類図、河川網図及び駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務調査報告書を参照して作成

b 重要な自然環境類型区分及び代表する生物種

地域を特徴づける 10 種の自然環境類型区分のうち、分布面積、生物の多様性、及び連続性の観点から特に重要な類型区分を、表 3-1-3-13 の 5 区分に選定した。

また、これら重要な自然環境類型区分を代表する生物種について、文献資料、現地確認及び既存の知見等の情報を表中に示した。

表 3-1-3-13 重要な自然環境類型区分に代表される生物種

類型区分	丘陵地－自然林	丘陵地－雑草草原	緑の多い住宅地・管理草地	丘陵地－人工林	水域
代表する生物種	<ul style="list-style-type: none"> <li>●植物 シラカンバ ミスナラ エゾイタヤ マイヅルソウ</li> <li>●哺乳類 エゾタヌキ エゾリス エゾモモンガ</li> <li>●鳥類 ハチクマ ゴシユウカラ キシハト ヤマガラ キビタキ</li> <li>●爬虫類 アオダイショウ トカゲ</li> <li>●両生類 エゾサンショウウオ エゾアカガエル</li> <li>●昆虫類 コエゾゼミ アオカナブン トノキハシ モンズメハチ コムラサキ オシロシタハ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●植物 クサフシ ハリエンジュ オオヨモギ ススキ</li> <li>●哺乳類 キタキツネ エゾユキウサギ エゾヤチネズミ</li> <li>●鳥類 カッコウ アリスイ ホオシロ スズメ</li> <li>●爬虫類 カナヘビ</li> <li>●両生類 アマガエル</li> <li>●昆虫類 アキアカネ ハネナガキリギリス マメコガネ トビイロケアリ シオヤアブ ベニシジミ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●植物 ナナカマド アカザ ノラニンジン オオバコ</li> <li>●哺乳類 キタキツネ キタイイスナ オオアシガリネズミ</li> <li>●鳥類 チゴハヤブサ アカゲラ ハシブトガラス シシユウカラ ヒヨドリ</li> <li>●爬虫類 シマヘビ</li> <li>●両生類 アマガエル</li> <li>●昆虫類 カンタン ナガメ ナナホシテンノウ クロオオアリ ハナアブ モンシロチョウ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●植物 トマツ カラマツ クロマツ アカエゾマツ</li> <li>●哺乳類 キタキツネ エゾタヌキ エゾリス エゾアカネズミ</li> <li>●鳥類 オオタカ ハイタカ キクイタダキ ヒガラ ハシホソガラス</li> <li>●爬虫類 －</li> <li>●両生類 エゾアカガエル</li> <li>●昆虫類 マダラカマトウマ エゾハルゼミ イシカリクロナガオサムシ ムネアカオオアリ カラマツイトヒキハマキ クロヒカゲ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●植物 オノエヤナギ ヨシ ガマ ヒロトスゲ</li> <li>●哺乳類 イタチ属の一種</li> <li>●鳥類 オシロウシ マガモ アオサギ カワセミ カワガラス</li> <li>●爬虫類 シマヘビ</li> <li>●両生類 エゾサンショウウオ (産卵池) エゾアカガエル アマガエル</li> <li>●昆虫類 オニヤンマ ルリイトソホ アメンボ センブリ エゾヒメゲンゴロウ ヒゲナガカワトビケラ</li> <li>●魚類 エゾウグイ フクヅシヨウ エゾホトケトシヨウ トミヨ属淡水型</li> <li>●甲殻類 スシエビ ニホンザリガニ</li> <li>●貝類 カワナ</li> </ul>

ウ 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場

(ア) 景観

a 地域景観の状況

事業実施想定区域周辺の景観は、森林や草地の自然景観、西部に広がる市街地の都市景観となっている<sup>60)</sup>。

また、精進川や真駒内川の河川沿いは、河川景観となっている。

60) 環境省「第6回・第7回自然環境保全基礎調査 植生調査 石山」(平成14年)

b 景観資源の分布状況

(a) 自然景観資源

事業実施想定区域周辺の自然景観資源の分布状況を、表 3-1-3-14 及び図 3-1-3-8 に示す<sup>67) 68)</sup>。

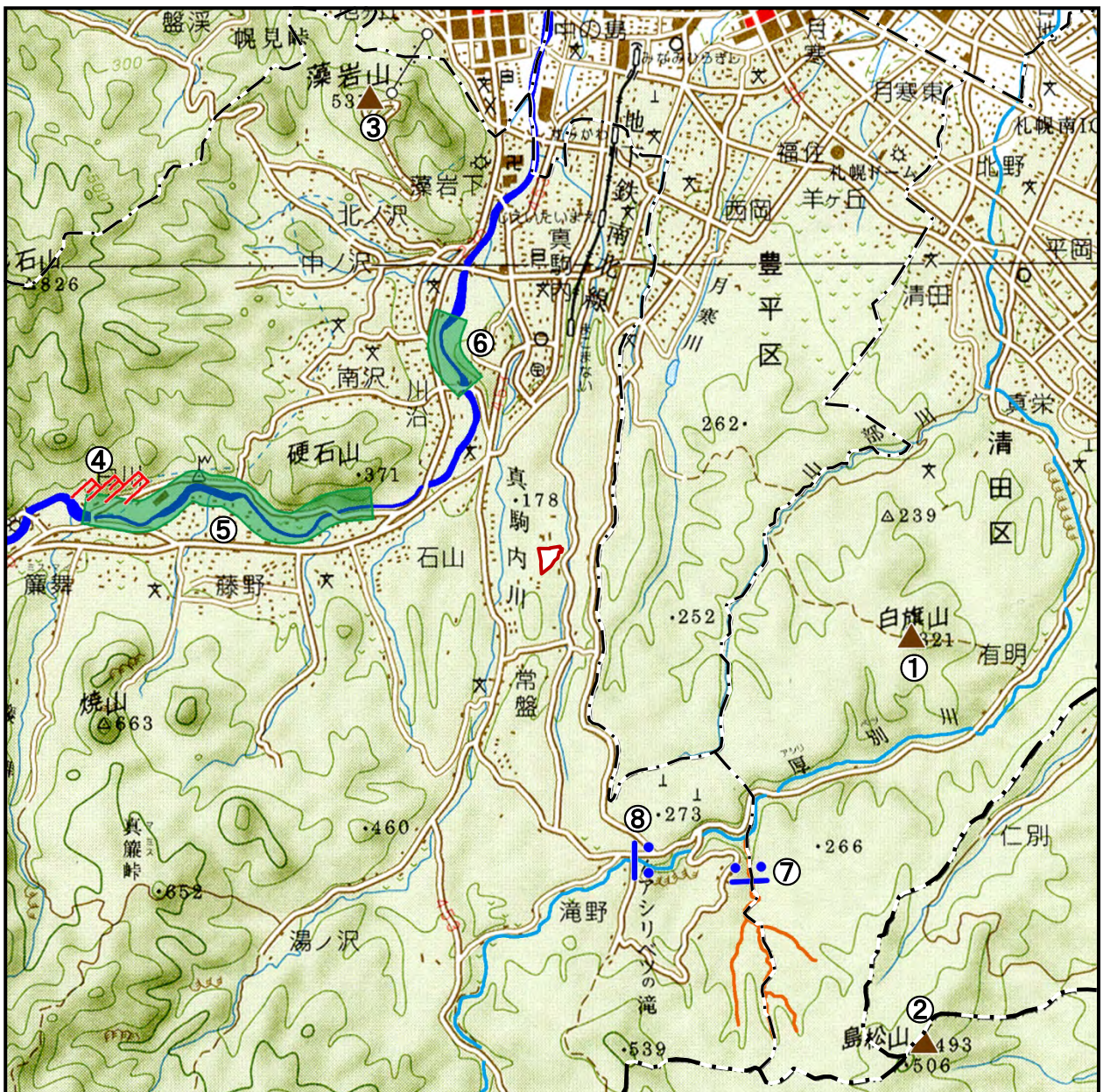
表 3-1-3-14 自然景観資源の概要<sup>68)</sup>

類型	自然景観資源名	図中番号	名称	概要
山地景観	非火山性孤峰	①	白旗山	最高標高 321.5m の山
		②	島松山	最高標高 492.9m の山
		③	藻岩山	最高標高 530.9m の山
特殊地学景観	節理	④	簾舞河岸の柱状節理	新第三紀中新世末に貫入した石英安山岩の柱状節理
河川景観	渓谷	⑤	豊平川・十五島公園付近	延長 4.7 km、幅 50～150m、深さ 5～10m の渓谷で、新第三紀硬質頁岩及び石英安山岩(貫入岩、柱状節理をともなう)が露出 また、周辺に河岸段丘が発達
		⑥	豊平川・藻南公園付近	延長 1.2 km、幅 50～150m、深さ 5～10m の渓谷で、新第三紀泥岩・集塊岩が露出。一部に V 字状の淵が発達し、「おいらん淵」と呼ばれたこともある
	滝	⑦	鱒見の滝	落差 10m、滝口幅 5m の一文字状の滝
		⑧	アシリベツの滝	落差 25m、滝口幅 7～8m の一文字状の滝

注：図中番号は、図 3-1-3-8 に対応している。

67) 環境庁「第 3 回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 北海道(胆振・石狩・空知)」(平成元年)

68) 環境庁「第 3 回自然環境保全基礎調査 日本の自然景観 北海道版」(平成元年)

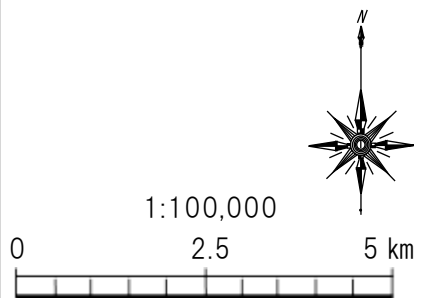


凡 例					
	事業実施想定区域				
	区界				
	市 町 村 界				
	豊 平 川				
	厚 別 川				
	鱒 見 の 沢 川				
	自然景観資源 (非火山性弧峰)				
	自然景観資源 (節理)				
	自然景観資源 (溪谷)				
	自然景観資源 (滝)				
①	非火山性	白 旗 山	⑤	溪 谷	豊平川・十五島公園付近
②	弧 峰	島 松 山	⑥		豊平川・藻南公園付近
③		藻 岩 山	⑦	滝	鱒 見 の 滝
④	節 理	簾舞河岸の柱状節理	⑧		アシリベツの滝

注：図中番号は、本文中の表 3-1-3-14 に対応している。

図 3-1-3-8  
自然景観資源の位置図

※この地図は国土地理院発行の20万分の1地勢図(札幌)を拡大して使用したものである



(b) 札幌景観資産

事業実施想定区域周辺における札幌景観資産を、表 3-1-3-15 及び図 3-1-3-9 に示す<sup>69)</sup>。

表 3-1-3-15 事業実施想定区域周辺における札幌景観資産<sup>69)</sup>

図中 番号	名称	建設年	構造	所在地
①	旧石山郵便局 (ぼすとかん)	昭和15年	石造 (札幌軟石)	南区石山2条3丁目1-26
②	エドウィン・ダン記念館	明治20年	木造	南区真駒内泉町1丁目6-1
③	旧石切山駅 (石山振興会館)	大正7年	木造一部 石造り	南区石山1条3丁目1-30

注：図中番号は、図 3-1-3-9 に対応している。

(c) 市民主体の景観資源

札幌市では、市民ひとり一人の個人的に好きな場所、大切な風景を集めて共有することで、新たな景観（価値）を生み出し、まちづくりの中で生かしていく取り組み「好きです。さっぽろ（個人的に。）」<sup>\*</sup>事業を行っている。

事業実施想定区域の位置する南区においては、表 3-1-3-16 のとおり、石山緑地が1位に、東海大学のラベンダーフェスティバル会場が3位に、藻岩山が9位に選出された<sup>69)</sup>。

表 3-1-3-16 南区における市民主体の景観資源<sup>69)</sup>

図中 番号	名称	順位	票数 (票)
④	石山緑地	1位	172
⑤	東海大学のラベンダーフェスティバル会場	3位	157
⑥	藻岩山	9位	124
—	南区各地の雪あかりの取り組み— 定山溪温泉雪灯路(ゆきとうろ)	25位	64
⑦	札幌芸術の森に架かるボザール橋	29位	55
⑧	真駒内滝野霊園	31位	52
⑨	真駒内五輪団地	38位	43
⑩	桜山(真駒内保健保安林)	42位	42

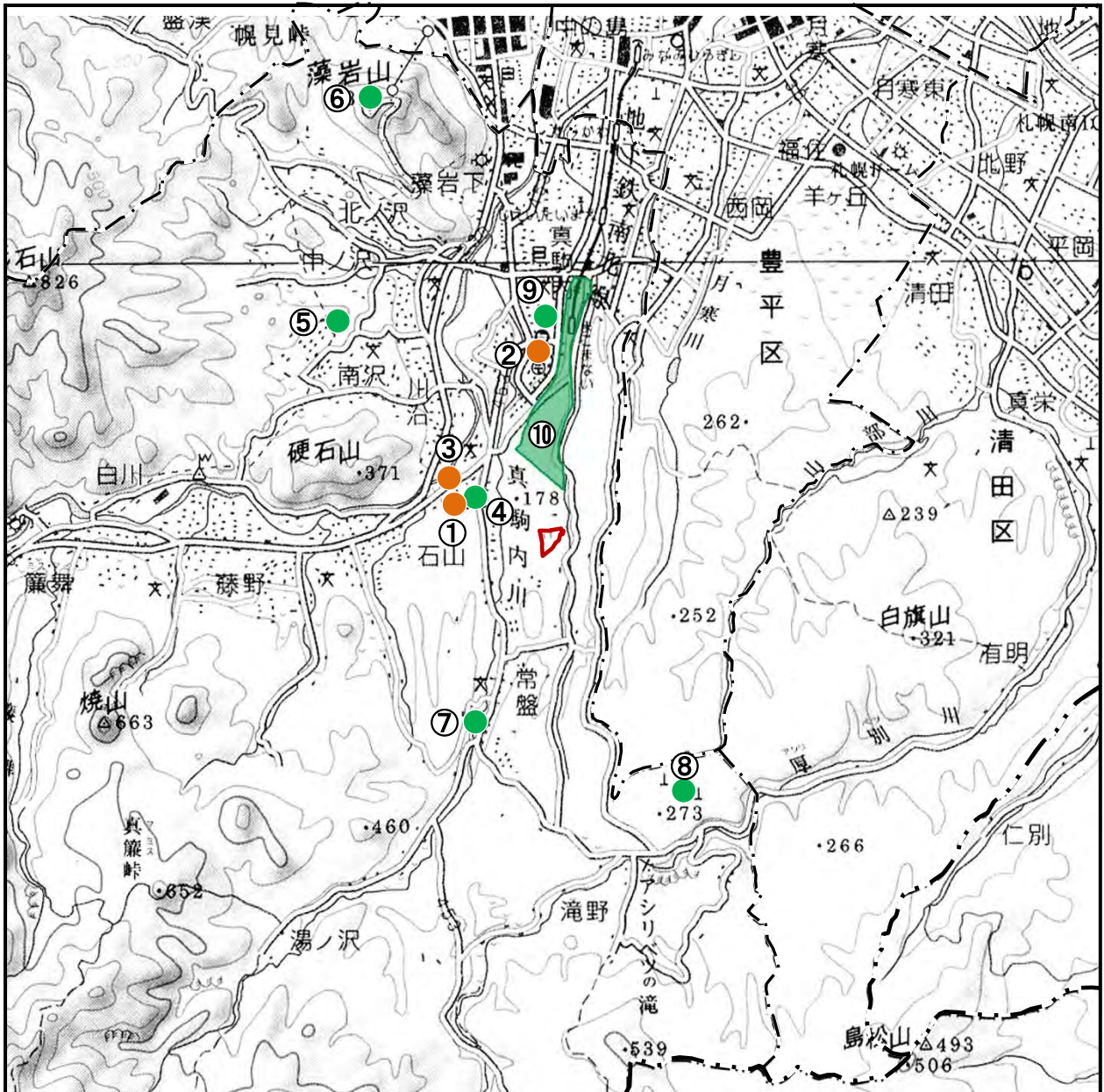
注：図中番号は、図 3-1-3-9 に対応している。

69) 札幌市市民まちづくり局都市計画部地域計画課ホームページ「都市景観」

※ 好きです。さっぽろ（個人的に。）について

「好きです。さっぽろ（個人的に。）」は、市民ひとり一人の個人的に好きな場所、大切な風景を集めて共有することで、新たな景観（価値）を生み出し、まちづくりの中で活かしていく取り組みである。平成24年度から、市民主体の景観資源選出事業の取組を実施している。



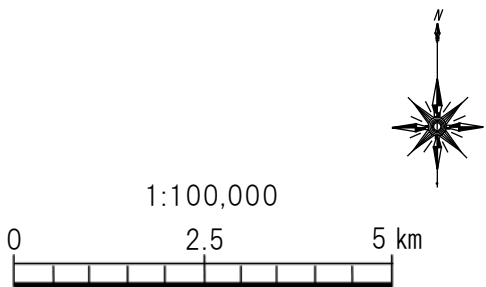


凡 例			
		事業実施想定区域	
- · - · -		区 界	
- · · · -		市 町 村 界	
		札幌景観資産	
		市民主体の景観資源	
①	旧石山郵便局 (ぼすとかん)	⑥	藻岩山
②	エドウィン・ダン 記念館	⑦	札幌芸術の森に架かるボザール橋
③	旧石切山駅	⑧	真駒内滝野霊園
④	石山緑地	⑨	真駒内五輪団地
⑤	東海大学のラベン ダーフェスティバル会場	⑩	桜山(真駒内 保健保安林)

注：図中番号は、本文中の表 3-1-3-15, 3-1-3-16 に対応する。

図 3-1-3-9 札幌景観資産及び  
市民主体の景観資源

※この地図は、国土地理院発行の 20 万分の 1  
地勢図(札幌)を拡大して使用したものである



c 主要な眺望点等の分布状況

事業実施想定区域周辺の主要な眺望点の分布状況を、表 3-1-3-17 及び図 3-1-3-10 に示す<sup>70) 71) 72) 73) 74) 75)</sup>。

近景域は 500m 未満、中景域は 500m～3.0 km、遠景域は 3.0 km 以上とした<sup>76)</sup>。

また、眺望点における眺望可能な景観資源（事業実施想定区域方向）を望む現況写真を写真 3-1-3-1～3-1-3-4 に示すが、景観資源に対する眺望については、更に眺望点の追加検討なども含む検証を行う。

表 3-1-3-17 事業実施想定区域周辺における主要な眺望点<sup>70) 73) 75)</sup>

主要な眺望点	景観の区分	眺望可能な景観資源（事業地方向）	現工場の視認可否	事業地からの方位及び距離
① 札幌市保養センター駒岡	近景域	特になし	○	北 約 100m
② 札幌ガーデンヒルズ しらかばゴルフ場	近景域	藤野豊栄山方向のスカイライン	○	東 約 400m
③ 札幌市立駒岡小学校	近景域	学校林	○	南東 約 200m
④ 真駒内駒岡団地	近景域	ゴルフ場方向丘陵地	○	南西 約 100m
⑤ 西岡公園	中景域	空沼岳方向のスカイライン	×	北東 約 3.0 km
⑥ 常盤公園	中景域	特になし	×	南 約 1.7 km
⑦ 札幌芸術の森	中景域	特になし	×	南西 約 2.8 km
⑧ 札幌市立石山東小学校	中景域	丘陵地	×	西 約 900m
⑨ 石山緑地展望テラス	中景域	丘陵地	×	北西 約 1.6 km
⑩ 藻南公園	中景域	豊平川	×	北北西 約 2.8 km
⑪ 札幌市地下鉄南北線 真駒内駅	遠景域	駅南の緑地	×	北 約 3.4 km
⑫ 羊ヶ丘展望台	遠景域	空沼岳方向のスカイライン	×	北東 約 5.3 km
⑬ 札幌ドーム	遠景域		×	北東 約 7.3 km
⑭ 滝野すずらん丘陵公園	遠景域	藻岩山方向のスカイライン	×	南南東 約 5.0 km
⑮ 藻岩山展望台、駐車場	遠景域	恵庭岳～白旗山等	○	北北東 約 7.0 km
⑯ 真駒内公園	遠景域	桜山 (真駒内保健保安林)	×	北北東 約 4.0 km

注 1：近景は 500 未満、中景は 500m～3.0 km、遠景は 3.0 km 以上とした。

2：現工場の視認可否における「○」は現駒岡清掃工場を視認でき、「×」はできないことを示す。

3：図中番号は、図 3-1-3-10 に対応している。

70) 札幌市環境局みどりの推進部「札幌市公園緑地図」（平成 23 年 4 月）

71) 札幌市環境局みどりの推進部「札幌市の公園・緑地 平成 25 年度」（平成 25 年 11 月）

72) 札幌市環境局みどりの推進部ホームページ「公園検索システム」

73) 札幌市南区「南区ガイド&MAP」（平成 26 年 4 月）

74) 札幌市南区「札幌シーニックハイウェイ<sup>※</sup> 藻岩山麓・定山溪ルート スタンプラリーマップ」（平成 26 年 5 月）

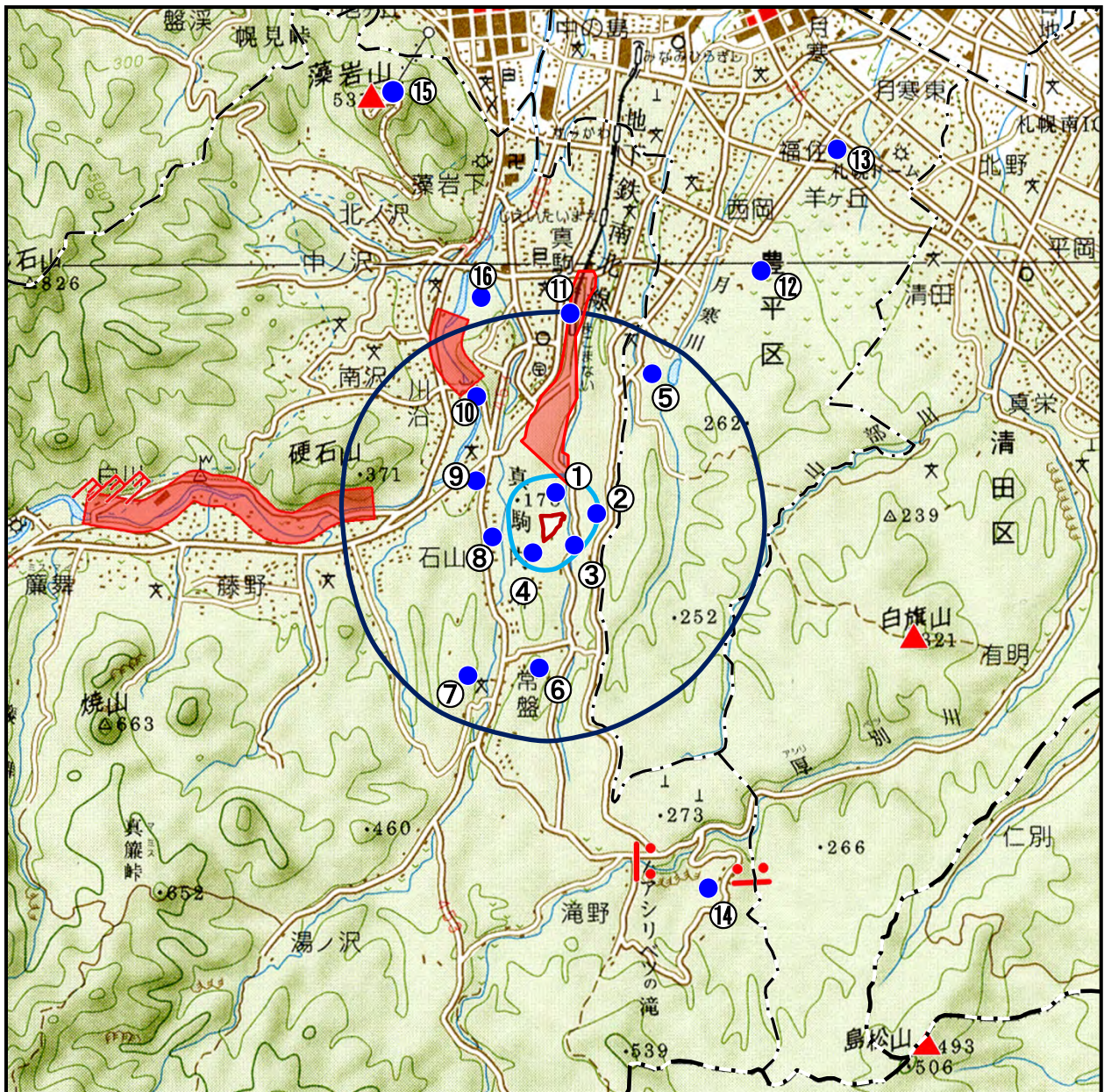
75) 昭文社「スーパーマップル北海道道路地図 2014 年版」（平成 26 年 3 月）

76) 環境庁「自然環境のアセスメント技術(Ⅱ)」（平成 12 年 9 月）

※ シーニックバイウェイについて

シーニックバイウェイ（Scenic Byway）とは、Scenic（景観の良い）と Byway（わき道・寄り道）を組み合わせた言葉であり、地域と行政が連携して景観や自然環境に配慮し、地域の魅力を「みち」でつなぎながら個性豊かな地域、美しい環境づくりを目指す取組みである。

北海道では、平成 17 年度より全国に先駆けて「シーニックバイウェイ北海道」として本格的にスタートし、現在 14 のルートが活動している。



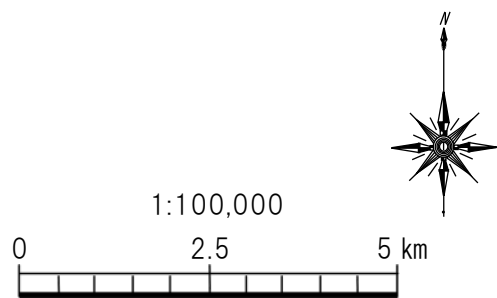
凡 例	
	事業実施想定区域
	区 界
	市 町 村 界
	近 景 域 (500 m 以内)
	中 景 域 (3 km 以内)
	自 然 景 観 資 源
	主 要 な 眺 望 点

注：图中番号は、本文中の表 3-1-3-17 に対応している。

図 3-1-3-10

主要な眺望点と自然景観資源

※この地図は、国土地理院発行の 20 万分の 1 地勢図(札幌)を拡大して使用したものである



出典：札幌市南区役所「南区ガイド&MAP」(平成 26 年 4 月)

昭文社「スーパーマップル北海道道路地図 2014 年版」(平成 26 年 3 月)

<p>①札幌市 保養センター 駒岡</p>	<p style="text-align: center;">← 事業実施想定区域 →</p> <p style="text-align: right;">(景観資源はない)</p> 
<p>②札幌 ガーデンヒル ズしらかば ゴルフ場</p>	<p style="text-align: center;">← 事業実施想定区域 →</p> <p style="text-align: right;">(硬石山) (砥石山)</p> <p style="text-align: center;">(藤野豊栄山) (豊平川)</p> 
<p>③札幌市立 駒岡小学校</p>	<p style="text-align: center;">← 事業実施想定区域 →</p> <p style="text-align: center;">(学校林)</p> 
<p>④真駒内 駒岡団地</p>	<p style="text-align: center;">← 事業実施想定区域 →</p> <p style="text-align: right;">(ゴルフ場のある丘陵地)</p> 

写真 3-1-3-1 主要な眺望点における事業実施想定区域方向の眺望（近景域）





<p>⑤西岡公園 (展望台)</p>	<p>事業実施想定区域</p>  <p>(澄川都市環境林)</p>
<p>⑥常盤公園</p>	<p>事業実施想定区域</p>  <p>(常盤公園周辺の緑)</p>
<p>⑦札幌 芸術の森</p>	<p>事業実施想定区域</p>  <p>(常盤地区の丘陵地)</p>
<p>⑧札幌市立 石山東 小学校</p>	<p>事業実施想定区域</p>  <p>(自衛隊のある丘陵地)</p>

写真 3-1-3-2 主要な眺望点における事業実施想定区域方向の眺望（中景域）

<p>⑨石山緑地 展望テラス</p>	 <p>事業実施想定区域</p>
<p>⑩藻南公園</p>	 <p>事業実施想定区域</p> <p>(支笏湖方向の山地)</p>
<p>⑪札幌市 地下鉄 南北線 真駒内駅</p>	 <p>(西岡周辺の天然林)</p> <p>事業実施想定区域</p>
<p>⑫羊ヶ丘 展望台 (チャペル) 屋上テラス</p>	 <p>事業実施想定区域</p> <p>(空沼岳)</p> <p>(札幌岳)</p>

写真 3-1-3-3 主要な眺望点における事業実施想定区域方向の眺望（遠景域 1）



写真 3-1-3-4 主要な眺望点における事業実施想定区域方向の眺望(遠景域 2)

(イ) 人と自然との触れ合いの活動の場

a 野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況

事業実施想定区域周辺における野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況を、表 3-1-3-18 及び図 3-1-3-11 に示す<sup>20) 70) 71) 72) 73) 74) 77) 78) 79) 80)</sup>。

20) 札幌市環境局環境都市推進部「平成 26 年度 札幌市環境白書」(平成 27 年 1 月)

70) 札幌市環境局みどりの推進部「札幌市公園緑地図」(平成 23 年 4 月)

71) 札幌市環境局みどりの推進部「札幌市の公園・緑地 平成 25 年度」(平成 25 年 11 月)

72) 札幌市環境局みどりの推進部ホームページ「公園検索システム」

73) 札幌市南区「南区ガイド&MAP」(平成 26 年 4 月)

74) 札幌市南区「札幌シニックハイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート スタンプラリーマップ」(平成 26 年 5 月)

77) 札幌市南区「南区ウォーキング MAP」(平成 23 年 6 月)

78) 札幌市建設局総務部「さっぽろサイクリングマップ」(平成 19 年 3 月)

79) (社福)札幌市福祉事業団ホームページ「くつろぎの宿 札幌市駒岡保養センター」

80) 札幌市立駒岡小学校ホームページ「札幌市立駒岡小学校ー自然は友だちー」



表 3-1-3-18 野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場

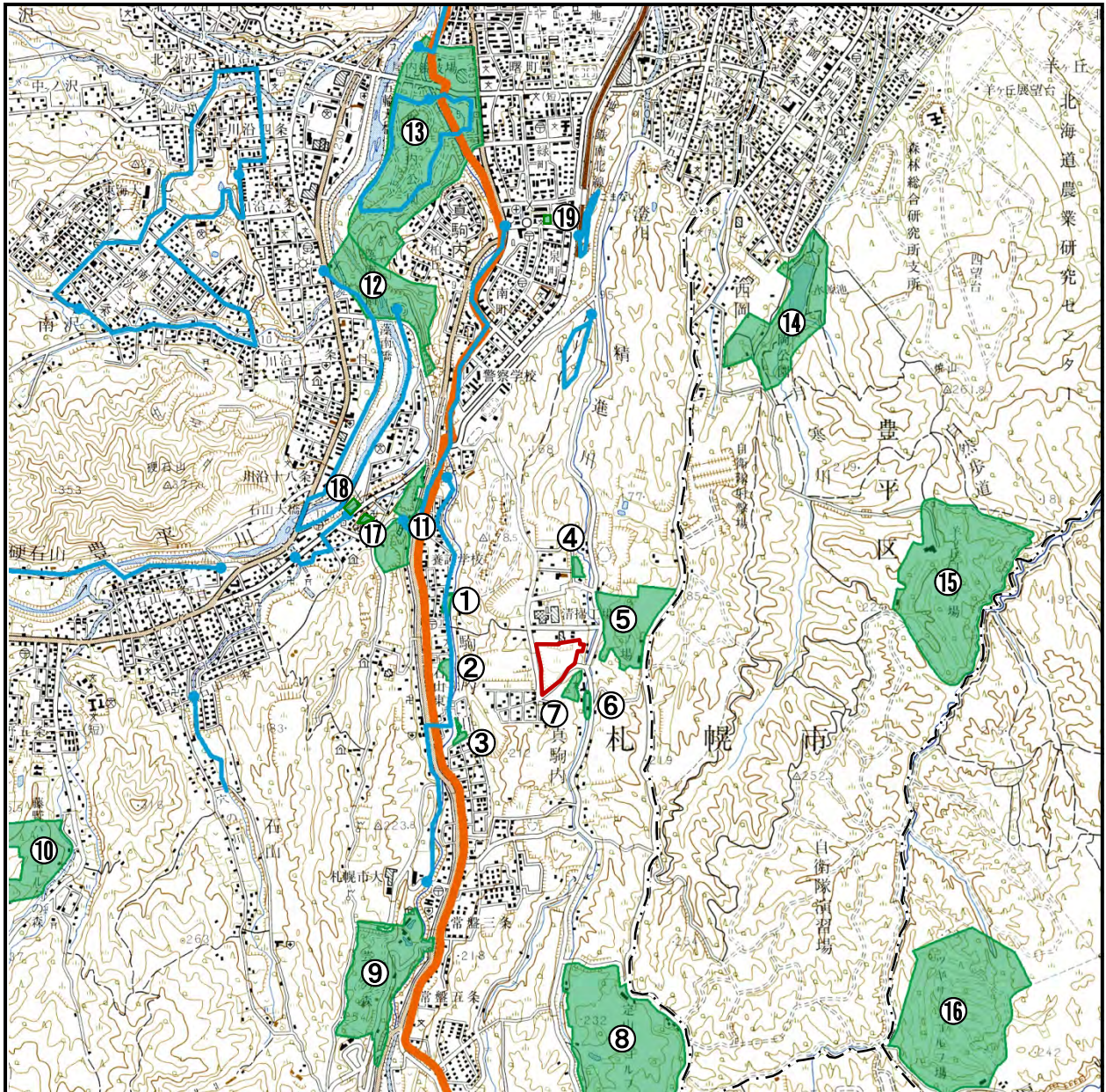
図中 番号	施設名	活動内容 (利用者数)	利用 時期	備考	アクセス経路	現工場 の視認 可否
①	石山こだま公園	遊び スキー ミニサッカー	通年	街区 公園	地下鉄南北線真駒内駅から中央バス「石山東4丁目」下車	×
②	石山東公園	遊び、野球 テニス ゲートボール	通年	近隣 公園	真駒内駅から中央バス「石山東5丁目」下車	×
③	真駒内川緑地（常盤）	散策	通年	都市 緑地	真駒内駅から約750m	×
④	保養センター駒岡 パークゴルフ場	パークゴルフ (26,000人/H24)	春～秋	冬季 休業	真駒内駅から中央バス「保養センタ-駒岡」下車	○
⑤	札幌ガーデンヒルズ しらかばゴルフ場	ゴルフ	春～秋	冬季 休業	真駒内駅から車で約5分	○
⑥	精進川 親水護岸 「駒岡の水辺」	水遊び	夏	冬季 閉鎖	真駒内駅から中央バス「駒岡小学校前」下車	×
⑦	駒岡小学校 学校林 「駒岡の森」	森の学習 体育	通年	—	真駒内駅から中央バス「駒岡小学校前」下車	×
⑧	札幌南ゴルフ 駒丘コース	ゴルフ	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅から約8km、車で約10分	×
⑨	札幌芸術の森	美術品鑑賞 工房利用等 (約35万人/H24)	通年	—	真駒内駅から中央バス「芸術の森入口」又は「芸術の森センタ-」下車	×
⑩	藤野パークエルクの森	パークゴルフ	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅からじょうてつバス「藤野4条2丁目」徒歩7分	×
⑪	石山緑地	展望台 テニス 水遊び	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅から中央バス「石山東3丁目」下車徒歩4分	×
⑫	藻南公園	ハイキング テニス、野球	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅からじょうてつバス「藻南公園前」下車	×
⑬	道立真駒内公園	テニス ジョギング スケート 歩くスキー	通年	—	真駒内駅からじょうてつバス「上町1丁目」又は「真駒内競技場前」下車	×
⑭	西岡公園 キャンプ場、水源地	自然観察 キャンプ	通年	—	澄川駅から中央バス「西岡水源地」下車徒歩1分	×
⑮	羊ヶ丘ゴルフクラブ	ゴルフ	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅から約8km車で約12分	×
⑯	ツキサップ ゴルフクラブ	ゴルフ	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅から約15km車で約20分	×
⑰	旧石切山郵便局 (ぼすとかん)	建造物	通年	電話 連絡	真駒内駅から、じょうてつバス「石山中央」徒歩2分	×
⑱	旧石切山駅	木造建築物	通年	—	真駒内駅から、じょうてつバス「石山中央」徒歩2分	×
⑲	エドウィン・ダン記念館	有形文化財 (5,900人/H22)	通年	—	真駒内駅から、徒歩9分	×
—	南区ウォーキングコース	散策	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅等から徒歩	×
—	滝野上野幌自転車道	サイクリング	春～秋		滝野から上野幌までの全長40km	×




注1：芸術の森の野外美術館は、冬季休館する。

注2：図中番号は、図3-1-3-11に対応している。

注3：年間利用者数（年度）は統計をとっている施設のみ掲載した。

注4：現工場の視認可否における「○」は現駒岡清掃工場を視認でき、「×」はできないことを示す。



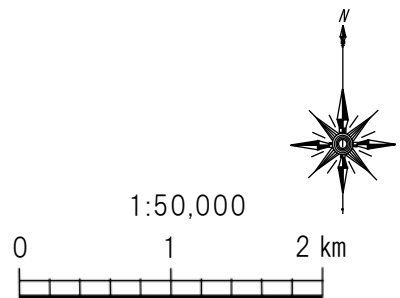
凡 例	
	事業実施想定区域
	区界
	野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場
	南区ウォーキングコース
	滝野上野幌自転車道路
①	石山こだま公園
②	石山東公園
③	真駒内川緑地(常盤)
④	保養センター駒岡パークゴルフ場
⑤	札幌ガーデンヒルズしらかばゴルフ場
⑥	精進川親水護岸「駒岡の水辺」
⑦	駒岡小学校 学校林「こまおかの森」
⑧	札幌南ゴルフ駒丘コース
⑨	札幌芸術の森
⑩	藤野パークエルクの森
⑪	石山緑地
⑫	藻南公園
⑬	道立真駒内公園
⑭	西岡公園, キャンプ場, 水源地
⑮	羊ヶ丘ゴルフクラブ
⑯	ツキサップゴルフクラブ
⑰	旧石山郵便局(ぼすとかん)
⑱	旧石切山駅
⑲	エドウィン・ダン記念館

注：图中番号は、本文中の表 3-1-3-18 に対応している。

図 3-1-3-11

野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況

※この地図は、国土地理院発行の5万分の1地形図(札幌、石山)を使用したものである



出典：札幌市南区役所「南区ガイド&MAP,南区ウォーキングマップ」(平成6年4月,平成23年6月)  
札幌市環境局みどりの推進部「札幌市の公園・緑地 平成25年度」(平成25年11月)